

第4次八王子市教育振興基本計画（素案）パブリックコメントの実施結果について

第4次八王子市教育振興基本計画（素案）について、市民の皆様からいただいた御意見を報告するとともに、市教育委員会の考えを公表します。

1 実施概要

(1) 募集期間

令和6年（2024年）12月15日（日）～令和7年（2025年）1月15日（水）

(2) 提出できる方

市内在住・在勤・在学の方、または、市内に事務所・事業所を有する個人及び法人、その他の団体

(3) 計画（素案）の閲覧場所

市役所（教育総務課、市政資料室）、教育センター、全市立小・中学校、各生涯学習センター、各図書館、市民部各事務所、各市民センター

(4) 提出方法

郵送、FAX、電子メール、窓口への提出

2 意見の概要

(1) 意見の提出者 224名（うち216名が小・中学生）

(2) 提出方法内訳

郵送	FAX	電子メール	窓口
0名	3名	5名	216名

(3) 意見の件数 408件

(4) 意見の概要

＜意見の種別と件数＞

基本理念	2件
はちおうじっ子の「生きる力」の育成	247件
学校・家庭・地域の連携・協働による教育力の向上	81件
あらゆる人がともに学びあう生涯学習の振興	47件
その他	31件

(5) 第4次八王子市教育振興基本計画素案のパブリックコメントの意見の概要と市教育委員会の考え方

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
第1編 総論		
基本理念について（2件）		
1	基本理念の最初の2行にある「障害のあるなしや性別、経済事情などにかかわらず」という表現は、削除するのが妥当であると考えます。多様性を表す表記として、第3次教育振興基本計画立案の際に作られた文言ですが、むしろ例示することによって多様性の範囲を狭めてしまっています。また、「障害のあるなし」が冒頭に出てくる必然性が薄く、唐突感があります。これらの理由から、冒頭2行の削除を求めるものです。	本計画の基本理念の説明文「障害のあるなしや性別、経済事情などにかかわらず」には、ご意見の趣旨のとおり、多様性を表していますが、基本理念の意図と異なるように捉えられてしまわないよう、ご意見を参考に表現を修正します。
2	基本理念の7行目にある「あらゆる人がともに学びあえるように。」という表現は、「あらゆる人がともに学びあい支えあえるように。」という表現に改め、広がりを持たせることが妥当であると考えます。	本計画の基本理念の説明文「あらゆる人がともに学びあえるように。」には、人とひと、人と地域がつながり、学びを展開していくことで学びの循環を推進し、学びあう仕組みづくりに取り組むことを意図しています。あらゆる人がともに学びあう生涯学習を振興していけるよう、本計画に掲げた施策を実現していきます。
第2編 各論 今後5年間に取り組む施策		
めざす教育の姿1 はちおうじっ子の「生きる力」の育成(247件)		
施策展開の方向 1 確かな学力を育む教育の推進		
3	楽しいと思える授業を増やしてほしい。	市立学校に通う全ての子どもたちが、楽しいと思える授業づくりをしていきます。そのためにも、子どもたち一人ひとりが「わかった。」「できた。」「また学びたい。」「と思える授業、学級の友だちと意見を交流しながら学びが深まる授業をつくっていきます。
4	学びたいと思える授業づくりがいいと思った。	
5	学校などで学ぶことが楽しいと思えればもっと関心を持ち積極的に学べと思う。	
6	授業中に、意見交換や話し合いの時間をもっと多く取り入れてほしい。	市立学校に通う全ての子どもたちが、楽しいと思える授業づくりをしていきます。そのためにも、一人ひとりを大切にする学びと他の人たちと学び合えることを一体的に実現します。子どもたち一人ひとりが、「わかった。」「できた。」「もっと学びたい。」「と思える授業、学級の友だちと意見を交流し、学びが深まる授業づくりとともに、一人ひとりが安心して学習に取り組める環境づくりに努めていきます。
7	教科の中で覚えておいた方がよいポイントを教えてほしい。	
8	記憶に定着するような授業をしていて良いと思う。	
9	もっと学びたいと思ってもらうためには、専門の先生や講師の方の授業はとても楽しく聞けて興味を持つきっかけになったこともあるので、このような授業の時間を今までよりも増やしてほしい。	
10	意見を出すのが恥ずかしいと思う人がいるので発言しやすいように班などの話し合いを増やした方がよい。	
11	班で意見を出し合い発表するような活動を増やしていく	
12	わかった、できたと思えるような授業を受けることで学習意欲も上がるのではないかなと思う。	
13	学力別に少人数に分けて授業をやってほしい。	
14	習熟度別クラスでの授業ではお互いに意見を出し合い、思考力を高めていきたい。	
15	生徒によっては学習の進むスピードもバラバラなので、個人に合わせて学べるようにしてほしい。	
16	もっと一人ひとりに寄り添った教育をしてほしい。	
17	一人ひとりにあった教育をすべき。	
18	自分の確かな学力を身につけるためにその人の実力に合った教育やサポートする人が必要だと思った。	
19	授業中に騒いでいる人がいる。	
20	生徒同士が学び、学ぶことが楽しいと思えるような環境づくり。	
21	誰でも学力が向上できる学習環境が必要。	
22	苦手な教科でも自分からやろうかなと思える環境や心情作りが必要。	
23	生徒一人ひとりが過ごしやすい環境作り、たとえば学校に行けない人がいたとしても支援をし、自分だけではなく周りの人と協力しながら八王子（の教育）をより良いものにするために行っている。普段の授業を学んでみて、毎時間の授業がただ話を聞いているのではなく生徒の皆が楽しく、明るく学ぶために班と話し合う場を作ったり、pcを使ったりする教育をしていると思う。	
24	タブレットを活用した授業を増やしてほしい。	子どもたち一人ひとりに配布している1人1台学習用端末（タブレット）を効果的に活用した授業づくりをしていきます。
25	先生の意見をメモできるように教科書の紙を鉛筆で書けるものにしてほしい。	学校では教科書の材質を変えることはできませんが、日常のノートの使い方を含め、授業中のメモの取り方など、子どもたちの実態に応じた対応を行っていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
26	私はインフルエンザで授業が受けられない日が多くあった。でも、体調は優れていたもので勉強をしたかった。このような場合でも勉強出来るようにしてほしい。	体調に応じて家庭でも学習に取り組めるよう、学習用端末を使ったオンライン配信や課題配布など、子どもたち一人ひとりの状況に合わせた対応をしていきます。
27	施策1の「主な取組」にある「アシスタントティーチャーの活用」という表現は、「アシスタントティーチャー未配置校への配置促進および活用」という表現とすることを検討願います。	児童・生徒の個々の課題に応じた基礎的・基本的な学習内容の定着のため、今後も、配置による効果を評価しつつ、アシスタントティーチャーの適正配置を行っていきます。
28	自主学習の授業を増やすべきだと思う。	市立学校に通う全ての子どもたちが、楽しいと思える授業づくりをしていきます。そのうえで、一人ひとりが学びたいことを学べるよう、家庭学習等についても主体的に取り組めるように取り組んでいきます。
29	自主学習の時間がほしい。	
30	自習の時間がほしい。	
31	放課後に補習教室があるのは、自習しやすくて助かった。	
32	学校に自習室を設置してほしい。	教室の設置については、学校の事情等もあるので難しいですが、学校に通う子どもたちが安心して学習できる環境づくりに取り組んでいきます。
33	家の事情で、家で復習できない人のために、学校で復習する時間を確保してほしい。	
34	授業の中で、理解できないところがあったらもう一度やり直せる補習教室を実施してほしい。	
35	学校の中で、自主性をもっと増やしてほしい。	
36	学校の中で、自主性を増やしてほしい。	子どもたち一人ひとりが望む未来に向け、挑戦する力を身に付けられるように、これからも分かりやすい授業づくりに取り組んでいきます。
37	学力を育むため施設などを設置することは良いと思った。	
38	「もっとやりたい」と思える授業は、どんどん学んでいけると思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
39	充実した授業を受けることができれば学校が楽しいと思う人が増えると思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
40	「分かった、できた」や「もっと学びたい」と思えるような授業は、勉強好きで自分から学ぶ好奇心旺盛な子が増えると思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
41	学校で授業を受けていて「もっと学びたい」と思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
42	将来が楽しくなりそうだから、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
43	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
44	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
45	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
46	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
47	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
48	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
49	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
50	確かな学力を育む教育の推進に賛成です。	
51	自分で学ぼうとしようとする力は大事だと思うので確かな学力を育む教育の推進に賛成。	
52	小中一貫教育グループ内で合同で行う活動といっても、回数も数えるほどで継続性のないものばかりが実情である。特に中学校教員がこの必要性・大切さを理解しない限りは、小中一貫教育は難しい。また、小中一貫グループ校として取り組んでいても、現状の中学校の学校選択制を見直さない限りは継続性の確保は難しい。	小中一貫教育の基本方針にも挙げていますが、本市では保護者・地域の方々とともに、地域の子どもは地域で育てる意識を共有し、「地域を、地域で、地域とともに学ぶ」ことのできる、地域の特色ある活動と関連付けて行っています。今後も地域の活動への参加を推進し、継続的に取り組むことができるよう、各学校が工夫をし、取り組んでいきます。
施策展開の方向 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		
53	道徳は、人を大切にする心を育てるための授業だと思う。	道徳については、授業だけでなく、学校の教育活動全体の中で学べるようにしています。道徳科の授業においても、日常生活について振り返り、子どもたち一人ひとりが自分もお互いも大切にできるよう、今後も充実させていきます。
54	一度やった道徳の単元を何度もやるのはやめてほしい。	道徳科の授業については、年間35時間計画的に実施しています。同じような内容がありますが、授業の中で、日常生活と結び付けて考えていけるように、今後も道徳教育をすすめていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
55	月に1回か2カ月に1回に、あいさつ運動を行う。	現在、各学校であいさつ運動を実施しています。あいさつにより、お互いが気持ち良い生活を送ることができます。学校によっては、年間何回か設定している学校もあります。各学校のようすに合わせて、今後もあいさつだけに限らず、豊かな心を育む取組を推進していきます。
56	命の大切さを大人にも教えた方が良いと思う。	本市では、各学校において年間1回道徳授業地区公開講座を実施しています。道徳授業地区公開講座の中で、保護者や地域の方と学校が道徳科の授業を通して、共通のテーマで共に考える時間を設けています。今後も学校だけでなく、保護者や地域を含め子どもたちに関わる大人が共に道徳について考える時間を大切にしていきたいです。
57	高齢化が進んでいるので、主に介護に関係した授業に取り組んだ方が良いと思う。	学校では、道徳の授業を年間35時間計画的に実施しています。例えばその計画の中に「思いやり、親切」という内容項目があり、その授業を通して、高齢者の方との関わり合いについて取り上げ、一人ひとりが自分事として振り返られるようにしています。
58	施策3の「施策の方向」にある「自他をかけがえのない大切な存在であるという気持ちを育み、多様性を高め合う共生社会の実現や人権教育を充実します。」という表記は、「自他をかけがえのない大切な存在であるという気持ちを育み、多様性を高め合う共生社会の実現や、障害者理解、インターネットによる人権侵害の防止などの多面的な人権教育を充実します。」という表記にすることについて、検討をお願いします。	人権教育については、一人ひとりの子どもたちが発達段階に応じて、多様な人権課題に向き合うことが大切であると認識しており、障害者理解やインターネットによる人権侵害についても、人権教育の推進の中で取り扱っています。今後もさまざまな人権課題を取り上げ、子ども達の人権感覚や人権意識を醸成していけるよう取り組んでいきます。
59	施策3に「障がい理解教育の推進」を主な取り組みに加えてください。	人権教育については、一人ひとりの子どもたちが発達段階に応じて、多様な人権課題に向き合うことが大切であると認識しており、障害者理解やインターネットによる人権侵害についても、人権教育の推進の中で取り扱っています。今後も一つの人権課題を取り上げるだけでなく、様々な人権課題を取り上げ、子ども達の人権感覚や人権意識を醸成していけるよう取り組んでいきます。
60	みんなを大切にする教育が良いと思う。	子どもたち一人ひとりが、自分も友だちも大切にできる心が育つよう、道徳科の授業を中心に取り組んでいきます。今後も、一人ひとりの心を育てる環境づくりに取り組んでいきます。
61	友達を大切にしたいので、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
62	親とか友達を大切にすることはとてもいいことだと思う。	
63	自分や家族、友達、周りの人を大切にする心は人間として必要なことだと思った。	
64	自分を大切にすることで他の人だけでなく物事も大切にできて何事も大切にできて良いと思う。	
65	悪口や相手を傷つける発言を言ってしまうのもっと発言を直したほうが良い。	
66	みんながみんなを尊重し合っていて良いと思う。	
67	みんな仲良くて良かった。	
68	差別のない学校生活にしてほしい。	
69	学校には色々な人がたくさんいる。	
70	スクールカウンセラーによる一斉カウンセリングの頻度を増やす。それによって、相談することへの抵抗をなくし、より充実したストレスのない学校生活につなげる。	本市では、児童・生徒一人ひとりと先生方などの信頼関係を築き、相談・指導につなげるために、週1回「いじめ対応のための時間」を市立学校全校に設定しています。今後も、学校に通う全ての子どもたちが安心して相談できる環境づくりをすすめていきます。
71	いじめを未然に防ぐことも大切だが、実際に起きてしまった時に、言い出しやすい環境を作ることも大切だと思う。	
72	いじめを無くしていきたいと思う。	市立学校では、いじめの防止に向けた取組に力を入れています。子どもたち一人ひとりがいじめの防止に向けて自主的に考え、「いじめは、絶対に許さない」という気持ちを大切にできるよう、今後も取組の充実をはかっていきます。
73	学校ではいまだに「いじめ」が続いており、そのせいで学校を楽しめない人がいるので、いじめ対策を追加してほしい。	どんな理由があっても「いじめ」は許されるものではありません。この考え方は、学校だけでなく、家庭や地域においても同じです。子どもたちを見守る大人が、子どもたちのSOSや変化にいち早く気づき、手を差し伸べてあげられるよう、今後も大人が協力していきます。
74	心の悩みを聞いてくれる取組をしてほしい。	本市では、小学校第5学年と中学校第1学年、義務教育学校第7学年を対象としたスクールカウンセラーによる全員面談や児童・生徒一人ひとりの信頼関係を築き、相談・指導につなげるために、週1回「いじめ対応のための時間」の設定などを実施しています。今後も誰もが安心して相談できる環境整備をすすめていきます。
75	月に1回くらい、学校の周りを地域の人と共に掃除をする機会があると良い。	学校や地域をきれいにしたいと思う気持ちで清掃活動に取り組むことを、学校だけでなく家庭や地域においても共通認識とすることが大切だと考えています。今後も学校内外での清掃活動の更なる充実をはかっていきます。
76	定期的にある地域のクリーン活動に参加することで地域の方々に貢献したい。	クリーン活動は、学校だけでなく家庭や地域においても共通認識のもと、活動していくことが大切です。今後も学校内外でのクリーン活動の更なる充実をはかっていきます。
77	地域を綺麗にするために、クリーン活動を行うことは良いと思う。	

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
78	放課後に地域の人と関わることは難しいので、授業の中で地域の人と関われる時間を作るべきだと思う。	地域の方と関わることは、とても大切だと考えています。学校の特色や状況に応じて、授業や放課後などの時間を使って地域の方と関われるよう、今後も充実をはかっていきます。
79	学校でもっと地域との活動を増やした方が良いと思う。	
80	地域の人との関わりが少ないため、学校でもっと地域との活動を増やした方が良いと思う。	
81	地域の人と一緒に、もっと関わることで良い。	
82	地域の人と交流できる機会を増やすことはとても良いことだと思った。	
83	保護者や地域の人と一緒に、何かレクリエーションをしたい。	保護者や地域の方とレクリエーション等で関わることは、とても良い考えだと思います。学校だけでなく、地域の活動を含め、いろいろな面でできると思いますので、参考にさせていただきます。
84	スポーツだけでなく、ものづくりをすることでも地域の交流を深めることができると思った。	ものづくりを通して地域と関わることは、とても良い考えだと思います。これからも、地域との交流を深める取組を考えていきます。
85	地域の様々な年齢や違う学校の人と学んだりスポーツをしたりする時間を作る。	地域の方や違う学校の人と関わることは、とても良い考えだと思います。学校だけでなく、地域の活動を含め、いろいろな面でできると思いますので、参考にさせていただきます。
86	地域のふれあいの場所があったほうが良いと思う。	地域のふれあいの場所があったほうが良いという考えは、とても良い考えだと思います。学校が地域の拠点として、引き続き地域との交流を深めていきます。
87	地域のことをもっと知れるように八王子の特色を授業に取り入れたら良いと思う。	市立学校では、総合的な学習の時間を中心に八王子の郷土についての学習に取り組んでいます。地域の良さがもっと学べるよう、引き続き充実をはかっていきます。
88	学ぶ力を学校内だけではなく地域の中で協力して伸ばしていこうとしていることが良いと思った。八王子がもっと良くなるためにはいろいろな工夫をして政策を出しているのはいいけど中途半端にしないで一つ一つ解決していくことが必要だと思う。	本市は、一つ一つの課題に対して最後まで責任をもって取り組んでいます。市立学校に通う子どもたち一人ひとりの学ぶ力が一層高まるよう、今後も地域と協力して取り組んでいます。
89	八王子がもっと良くなるために、地域の人とたくさん関われる取り組みがあると良いと思う。他の学校と一緒に学んだり、八王子にずっと住んでいる高齢者に昔の八王子を教えてもらったりしたい。	本市をもっと良くするために、すばらしい意見を出してくれてありがとうございます。現在、各学校において総合的な学習の時間等を使って地域について学習に取り組んでいますが、今後一層地域の方々と協力して学習する機会がつかれるよう、検討していきます。
90	柚子狩りを体験して、自分の地域の事を知れてよかった。	柚子狩り等、体験活動は皆さんにとって、地域を知ることができるとても良い機会だと思います。これからも、子どもたちが地域の活動に参加できるようにしていきます。
91	小・中学校の施設を使って、祭りなどのイベントを行い、町の人たちの交流を増やしてほしい。	地域が盛り上がるために、祭りやイベントを行うことはとても大切なことです。学校が地域の拠点として今後もあり続けるために、学校と地域で相談していきます。
92	学校で楽しく過ごすためにイベントを多く開催してほしい。	学校に通う全ての子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるよう、学校行事を含め更なる充実をはかっていきます。
93	もう少し他校との交流を増やしてほしい。	他校と交流することは、様々な見方や考え方を広げることにつながり、とても大切なことです。今後、小中一貫グループ校や部活動における交流など、他校と交流できる機会がつかれるよう、検討していきます。
94	八王子市内の他の中学校の生徒と、インターネットを用いて交流する時間を設けてほしい。	I C Tを活用して他校の生徒と交流することは、時間や空間を超えて交流でき、とても大切なことです。現在、はちおうじっ子サミットとして小・中学生が意見を交流する機会を設けています。今後も、I C Tの活用を含め検討していきます。
95	読書の時間を増やし、もう少し想像力を増やしたほうが良いと思う。	想像力を増やすことは、とても大切なことです。各学校では、読書の時間を通して読解力や想像力、語彙力の向上につながるよう取り組んでいます。今後も、学校の状況に応じた読書活動の充実をはかっていきます。
96	朝の時間を活用して読書をするのは良い。	朝読書は、落ち着いた環境の中で本を読めるとても大切な時間です。引き続き、読書活動の充実をはかっていきます。
97	朝読書の重要性を指導した上で、読書への意識を向上させるとともに、朝読書の時間を増やす。	
98	読書の時間をなくしてほしい。	読書は、文章を読む力、想像する力、新たな言葉との出会いなど、子どもたちにとって学び多き時間です。全ての子どもたちが読書の時間が楽しいと思えるよう、各学校で取組を工夫していきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
99	心を育む教育に欠かせないのは読書です。読書習慣をつけるには、学校図書館の果たす役割が大きい。学校司書が常駐できれば能力も更に発揮でき、子どもたちの読書環境も確実に良くなると思います。情緒が安定し、知的好奇心に富み、学ぶことが大好きな「はちおうじっ子」の育成を期待します。	読書活動の推進や学校図書館の活用は、学校が一体となって取り組んでいます。学校司書もその一員として、子どもたちの読書支援・学習支援に取り組めます。
100	現在、学校に司書さんが週に1回来てお仕事をされていますが、回数が少なすぎると思います。読書が脳にとって大きな役割を果たしているのですから、更に力を入れていただきたいです。できれば毎日図書室にいて子どもたちの相談にのってもらえたら嬉しいですね。学校司書を増やし、子どもたちの読書量を増やすことが基礎・基本の向上と学ぶ意欲の向上につながると思います。	
101	調べる学習コンクールの実施は大変重要なことだと思います。しかし、そのためには学校司書が週一日しか配達されないのは片手落ちだと思います。毎日司書がいて子どもたちへの声掛けをすることが大切だと思います。今教員が大変忙しくて労働強化になっています。担任の仕事を少しでも減らすためにも司書の毎日の配置が欲しいです。	
102	図書館を設けることで放課後に安全、安心に学び合えた。また、芸術文化にも触れ合え想像力が深められるようにしていることがすごいなと思った。	子どもたちにとって、学校図書館は落ち着いて学べる場である必要があります。安心して本に親しんだり勉強したりできるよう、今後も環境づくりをすすめていきます。
103	学校の図書館に今はやりの小説やテレビモニターを導入してほしい。	
104	課外活動や実習、ボランティアを授業で増やしてほしい。	体験活動やボランティア活動は、今まで気が付かなかったことが見える広い視野をもって物事を見る力を育むうえで大切な活動です。今後もより一層の体験活動やボランティアの充実をはかっていきます。
105	高尾山に登り、寺でお話を聞けて歴史について学べて良かった。	高尾山は、日本遺産に認定されており、本市にとっても大切な場所です。本市には高尾山をはじめ、歴史を学べる場所がたくさんありますので、体験活動の一層の充実をはかっていきます。
106	桑都日本遺産センターに行く機会が少ないので、歴史や文化財に触れる機会を学校でもっと増やした方がよい。	歴史や文化財にふれる機会がほしいという思いを伝えてくれました。歴史や文化財にふれる機会を増やすことで、伝統文化の理解を深めることができます。桑都日本遺産センターをはじめ、各学校において歴史に関する体験学習の一層の充実をはかっていきます。
107	中学校でも八王子市の歴史や文化を学んだり、体験できたりする機会があると良い。将来の職業選択にもつながる。	歴史施設等で実際に見たり聞いたりする機会は、教科書で学ぶこと以上に学び多き時間になります。今後も社会科や総合的な学習の時間等を通して、本市の歴史や文化にふれる機会や体験できる機会を充実できるようにしていきます。
108	歴史文化にふれる機会が少ないから、社会科見学などで八王子の歴史施設に行ける機会がもっと増えると良いと思う。	
109	歴史文化の保存活用のためにも八王子の歴史に関する教育を今よりも活発に行うべきだと考えます。	
110	文化などを見学しに行くのが良いと思う。	歴史や文化にふれることは、伝統文化の理解を深めることにつながります。今後も、社会科や総合的な学習の時間等を通して、より一層の充実をはかります。
111	健康な体にするためにはバランスの良い食事が大事。	バランスの良い食事をしっかり食べることは健康な体を作るうえでとても大切です。本市では成長期の子供たちに必要な栄養素が摂取ができ、食育にもつながる給食を提供するために、様々な工夫をしています。引き続き、バランスの良い食事の見本となるように取り組んでいきます。
112	給食のメニューの種類を増やしてほしい。	栄養価や彩り、旬の食材など様々なことを考慮しながら、皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように、これからも献立を工夫していきます。
113	給食に世界各国の料理を出して、生徒にも国際的な考えを持たせてほしい。	オリンピック・パラリンピック開催時に開催国のメニューを提供するなど、世界の食文化に親しんでもらえるように献立を工夫しています。今後も皆さんがおいしく給食を食べて、世界の歴史文化を学べるような給食を提供していきます。
114	みんなが野菜をもっと食べられるようなメニューにしてほしい。	野菜の切り方や火の入れ方、食材の選定、味付けなど、様々なことを考えながら、皆さんに野菜をおいしく食べてもらえるように調理しています。今後も引き続き工夫していきます。
115	給食を豪華にしてほしい。	給食は一食あたりの予算が決まっているので、その金額の範囲内で、最大限の工夫をして、皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように献立を検討しています。これからも栄養バランスがよく、おいしい給食提供のために工夫していきます。
116	給食にハムカツを入れてほしい。	各給食センターや学校で、リクエスト献立を実施または実施の検討を行っています。リクエスト献立のアンケートがあった際は、是非参加してみてください。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように、工夫していきます。
117	生徒に食べたい給食についてアンケートを取り、希望が多かったメニューの一つでも献立に入れてほしい。	
118	給食について、汁物以外にも魚などのおかずも温かいまま届けてほしい。	給食は学校給食法という法律に基づき、衛生管理をしています。ルールを守りながら、おいしく適温で食べてもらえるように、調理方法等を工夫しています。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように工夫していきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
119	バランスの良い給食を出してもらった。	栄養バランスの良い給食をしっかり食べて、心も体も元気に過ごしてほしいと考えています。これからもみなさんに喜んでもらえる給食が提供できるように工夫していきます。
120	給食はバランスが良くとても食べやすい。	
121	給食はおいしく旬の物も楽しめるのでこれからも続けてほしい。	
122	給食が美味しい。	
123	給食がおいしい。	
124	小・中学校の給食がおいしい。	給食では旬の食材を使用し、その季節ならではの食材を知ってほしいと考えています。これからも給食時間がおいしく食べながら学べる時間になるように工夫していきます。
125	給食で牛乳以外の飲み物をやスイーツを増やしてほしい。	
126	給食でケーキやパフェなどのスイーツを出してほしい。	
127	給食でスイーツを出してほしい。	
128	給食で牛乳以外の飲み物も出してほしい。	
129	給食で牛乳だけでなく、オレンジジュースなども飲みたい。	成長期の中学生のみなさんに必要なカルシウム量はとても多いため、栄養価を考慮すると牛乳の登場回数が増えている状況です。バランスを見ながら、牛乳以外の飲み物の提供も検討しています。また、給食では栄養を摂取できるデザートや月に1～2回提供しています。これからも栄養価を考慮しながら、工夫していきます。
130	給食でジュースを出してほしい。	
131	給食でジュースを出してほしい。	
132	給食の飲み物の種類を増やしてほしい。	
133	給食で出る牛乳を瓶に戻してほしい。	瓶入り牛乳は供給コストの高騰などを理由に、全国的に生産量が減っています。本市の給食の牛乳が瓶から紙パックに変更になる際、瓶牛乳が継続できるように様々なメーカーに問い合わせ、検討しましたが、本市の学校全てに配送する手段が確保できないなど多くの課題があり、継続を断念したという経緯があります。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように努めていきます。
134	給食はいつもごはんが温かくて、すごくおいしい。	市立小・中・義務教育学校の全員に温かい給食を届けられる環境が整い、多くの方に喜んでいただこうと思っています。これからも、成長期の子どもたちに必要な栄養素が摂取ができ、食育にもつながる給食が提供できるように、様々な工夫をしていきます。
135	給食で毎日あたたいご飯を食べれるのは良い。	
136	中学校が給食になってよかった。	
137	中学校が給食になってよかった。	
138	給食があることは良いことだと思う。	
139	親の負担が減り、給食が無償化になってよかった。	給食費が無償化になり、子育て世帯における負担を軽減をすることができ、多くの方に喜んでいただき、うれしく思っています。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように努めていきます。
140	給食が無料なのが良い。	
141	給食が無償化になって良かった。	
142	給食の余が多いと思う。	給食では食材の切り方や調理方法、食材の選定、味付けなど、様々なことを考慮しながら、皆さんにおいしく食べてもらえるように調理しています。給食の残菜が少なくなるように、献立・調理の工夫や、食を大切にする意識を高める食育の実施など、引き続き取り組んでいきます。
143	体力向上の取組は、体力がなかったり運動能力が欠ける子どもを少なくすると思うので賛成します。	健康に生活をするうえで、体を動かすことはとても大切です。今後も、子どもたちが運動を楽しみながら、自らの体力を高めたり、睡眠や食事などの健康的な生活習慣が身に付くようにしていきます。
144	体を動かすのは、本当に大事だと思うので、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
145	体力の向上には運動習慣が大事だと思う。	
146	先生達が一緒に運動してくれるのがよかった。	教員が、子どもたちと過ごす時間はとても大切です。今後も、積極的に子どもたちと関わり、その中で子どもたちが運動を楽しみながら、自らの体力を高めたり、睡眠や食事などの健康的な生活習慣を身に付けられたい指導をすすめていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
147	全校生徒が集まって、少しでも運動できると良い。	各学校では、全校で取り組む体育祭だけでなく、学年生徒全員で行う球技大会やレクリエーション大会等を実施するなど、学校の実態に合わせた取組が行われています。しかし、学校規模等の問題から、全校生徒が集まる活動が難しい学校もあります。学校の状況に応じた取組を今後もすすめていきます。
148	体力の向上は良いと思うが、休み時間を使って強制的に運動させるのは良くない。	適度に体を動かすことは健康な体をつくるうえで大切なことです。学校は、子どもたちの体調を見ながら声をかけています。今後も、子どもたちが運動を楽しんで取り組めるように、工夫していきます。
149	運動が苦手な人や、はずかしがりやな人にも配慮が必要だと思う。	適度に体を動かすことは健康な体をつくるうえで大切なことです。学校は、子どもたちの体調やようすを見ながら声をかけています。今後も、子どもたちが運動を楽しんで取り組めるように、工夫していきます。
150	体育祭の会場に日陰を増やしてほしい。	各学校には、体育祭や運動会等における熱中症事故防止に向けた指導や環境整備を行うよう、伝えています。今後も、熱中症等の事故防止に努め、安全・安心な体育活動が行われるよう取り組んでいます。
151	授業で行うプールを男女別にしたいほうが良い。	現行の学習指導要領では、体育科の授業を男女共習で行うことが決められているので、男女別で実施するのは難しいですが、各学校において生徒一人ひとりが安心して学習に取り組める環境をつくっていく必要があります。生徒一人ひとりが、安心して授業に臨めるよう、工夫していきます。
152	性加害・被害の問題が各所で噴出している今、性教育の必要性を強く感じている。「7体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」に、数行、言及されているのみで、しかも薬物乱用とセットになっている。重要性が低く見積もられすぎていると思う。性的少数者への理解増進という面からも、本来ならば、今後5年間に取り組む施策の一項目として立てるべきと考える。また、性教育は「3自分を大切に、他者を思いやる心の育成」にも関わる。人間の身体について知ること、自分のかけがえのなさについて学ぶこと、そして他者を自分と同じ大切な存在として捉えることにつながる。そこを抜きにして道徳や公共心や思いやりを植え付けようとしても、魂ばかりを言いつつ、仏を作らないみたいなものではないか。	本市では、子どもたちが性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」について、各学校の安全指導全体計画及び年間指導計画に位置付けて実施するなど、重要な教育活動であると認識しています。また、性教育についても、性教育の年間指導計画を各学校が作成し、計画的に実施しています。今後も、子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、多様性を認め合うとともに、性犯罪への正しい向き合い方を学ぶ教育活動をすすめていきます。
153	施策7の「体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」は、「体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」と「性教育の充実に向けた取組」の2施策に分けることについて、ご検討願います。	
154	部活動の所属に関わらず、八王子市の中学校に在籍していることで参加できるスポーツの大会などは、中学校として積極的に活用・参加することを望みます。特に学校近隣で行うものについては、積極的に中学校として活用すべきである。	大会等への参加は、各学校が部員の希望や指導者・引率者の有無等を勘案して決定しております。市教育委員会としては、今後も、子どもたちが日頃の練習の成果を発揮する場として重要であることを、各学校に伝えていきます。
155	豊かな心と健康な体を育むために、道徳の授業の充実や、仲間と協力して運動ができる場所がもっと増えたら良いと思った。	
156	豊かな心には様々な視点に立ち、一つ一つの物事に対して真剣に考える力が必要。様々な視点の意見を聴くことはその力のもととなる。	学校は、子どもたち一人ひとりの豊かな心と健やかな体を育成するために、特色ある活動を計画的に実施しています。子どもたちが学校生活を送る中で、感じるものがあれば、いつでも学校の教職員が相談に乗ることができます。今後も、学校の実態に応じて地域の方と連携し、子どもたちにとってより良い教育活動になるように、工夫していきます。
157	休みがほしい。身体的な疲れはすぐ取れるが、精神的なものは簡単には取れないので、心の休みを優先して解消してほしい。	
158	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
159	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	学校は、子どもたち一人ひとりの豊かな心と健やかな体を育成するために、特色ある活動を計画的に実施しています。子どもたちが学校生活を送る中で、感じるものがあれば、いつでも学校の教職員が相談に乗ることができます。今後も、学校の実態に応じて地域の方と連携し、子どもたちにとってより良い教育活動になるように、工夫していきます。
160	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
161	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
施策展開の方向 3 児童・生徒に応じた支援の充実		
162	施策8の「主な取組」にある「教員のニーズに応じた特別支援教育研修の開催」という表現は、「児童・生徒の状況に基づく教員、学校運営協議会の顕在化したニーズ、および特別支援教育に関する専門家が指摘する潜在的なニーズに応じた特別支援教育研修の開催」という表現とすることを検討願います。	特別支援教育において、顕在化されたニーズと共に、潜在的なニーズに着目したアプローチは重要な視点であると認識しています。今後も、各種専門家や地域の方々からの御意見を参考にしながら、教員研修の運営をはかり、特別支援教育の充実に努めてまいります。
163	学校に通えない子どもを支援するのはとても良いと思う。	在学中での支援はもちろんですが、学校に通えないまま義務教育を修了した生徒については、卒業後も継続して必要な支援を受けられるような体制づくりをすすめていきます。
164	一人ひとりのことをよく見て一人ずつ適切に接する教育は良いと思います。少子高齢化で子どもの人口が減ってしまっている中、学校へ通えない子の気持ちに向き合おうとしているところも良いと思った。	温かい意見をありがとうございます。引き続き子どもたち一人ひとりに寄り添った支援をしていきます。
165	八王子は不登校の子にも親切に支援してくれていると思います。	温かい意見をありがとうございます。引き続き子どもたち一人ひとりに合った支援をしていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
166	学校に通えない子どもたちのために無料授業を受けられるシステムを作った方がよい。	学校に通えない子どもたちのために、バーチャル・ラーニング・プラットフォームを活用した学びの場があります。ここでは、バーチャル空間での学習活動や夜間学級での学び直しなど、学校外の学びのネットワークを活用し、様々な支援が必要な不登校児童・生徒の学びの場となっています。
167	教室、相談室ではなく、学校に通えない子どもでも勉強ができる場所が欲しい。	市教育委員会では市内3か所に「適応指導教室」を設置しています。ここでは、学校に通えないけど学びたい子どもたちが勉強をしています。引き続き、こうした場所について、利用方法を含めて伝えていきます。
168	病気で学校に行けない子や不登校の子も学ぶことができるような支援があるとすごく親も安心だと思った。みんな同じような支援だと合わない子もいるので一人ひとりにあった支援があるのが良いと思った。	温かい意見をありがとうございます。引き続き子どもたち一人ひとりに合った支援をしていきます。
169	「9不登校児童・生徒への支援の充実」の主な取組に「人間関係など様々な事情で授業を受けることが困難な生徒が普通の教室以外の場所で授業を受ける制度」があったら良いと思う。	現在、教室で授業を受けることができない生徒のために、別室指導の充実やフリースクール等民間施設との連携強化に取り組んでいます。今後も、不登校の児童・生徒が安心して過ごせる居場所づくりと学習機会の確保をすすめていきます。
170	生徒の不登校に対する意識を改善し、「無関心」「自分には関係ない」と思わせない指導が必要。	不登校に対する意識を含め、何事も自分事として捉え、考え行動することは、誰もが安心して生活を送るうえでとても大切なことです。自分も相手も大切にできる温かい心を育成できるよう、引き続き子どもたち一人ひとりに合った支援をしていきます。
171	年々増加している不登校生徒を減らすために、家に訪問してカウンセリングや授業を行うなどの取組をしても良いと思う。	本市としても、バーチャル・ラーニング・プラットフォームを活用した、バーチャル空間での相談・支援など、不登校対策に力を入れています。不登校傾向がある子を含め、学校では、安心できる居場所づくりを含め、一人ひとりが将来に向けて前にすすめるように、今後も考えて取り組んでいきます。
172	施策9の「現状と課題」の観点として、素案に記載のある5点に加えて、次の文言を加えてくださるようお願いします。 ○現在の「不登校児童・生徒への支援」は、学校に戻れるようにする支援のほか、「校内別室」、「適応指導教室」など、児童・生徒に多様な学びの場を選択肢として提供している実情もあります。これらに加え、今後は「フリースクールとの連携による別形態での登校」、「オンライン通学による別形態での登校」など、社会の動向も踏まえたさらなる多様な学びの場を選択肢として提供していくことについての検討も必要な状況です。	本市の貴重な財産である学びの多様化学校「高尾山学園」では「対面での指導」による効果を重視しています。ご意見をいただいた「オンライン学習」や「オンライン登校」などの「多様な学び」の対応につきましては、先取りするのではなく、その施策の有用性について、今後の他自治体の動向を見ながら、その整備について検討していきます。
173	施策9の「課題と対応」を踏まえ、「施策の方向」と「主な取組」のリストに以下のことを加えてください。 施策の方向：○多様な学びの場を整備し、提供します。 主な取組：○校内別室、適応指導教室の継続的な設置促進 ○フリースクールとの連携による別形態登校の整備 ○オンライン登校の形態整備	
174	お金などが理由で学べないような教育ではなく平等に全員が学べるようにすること。	経済的な理由により、就学が困難と認められる児童・生徒に対し、就学援助費として学用品費、修学旅行費、オンライン通信費などの援助を行っています。今後も教育の機会均等が確保できるよう取り組んでいきます。
175	朝起きれない子のために遅い時間にも授業をしてほしい。	学校は、一人ひとりに寄り添った指導を心がけていますが、集団で生活する場である以上、どうしても時間などのルールを決めなくてはなりません。学校生活の中でみんなと同じようにできないと感じてしまう人もいますかもしれません。だからこそ学校は、一人ひとりのようすを多くの先生方で見守りながら声をかけています。
176	人はみんなそれぞれ違うため、その人に合う教育の進め方が大切だと思う。	
177	一人一人の個性を尊重し、たくさんの場面において交流したり多様性を見つけ合ったりする人を育み、それに合わせた個人一人ひとりへの相応の支援を行ったり、交流する場を作ったりする必要があると思う。	
178	児童・生徒に応じた支援を充実する取組は、より良い学校にするためには良いと思う。	学校では、子どもたち一人ひとりの声を大切にし、寄り添った支援ができるよう心掛けています。今後も、一人ひとりが将来に向かって挑戦できるよう、寄り添っていきます。
179	児童・生徒に応じた支援をすることがSDGsにつながるので取組に賛成する。	
180	支援が必要な児童・生徒への取組は必要だと思う。	
181	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
182	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
183	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
184	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
185	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
186	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
施策展開の方向 4 未来を切り拓く力を育む教育の推進		
187	将来の夢のためにキャリアパスポートがあると便利になると思う。	「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」は、子どもたちの成長の記録として残し、自分で読み返しながら活動を振り返ったり、自分の生き方について考えられるよう、全校で活用しています。皆さん一人ひとりが自分らしい生き方を実現していくキャリア教育をこれからも充実させていきます。
188	キャリア・パスポートに書く内容を、現状のものに加え、楽しんで書ける項目の追加をすることにより、キャリア・パスポートに記入することに対する意識を改善する。	より良くしていこうという気持ちが伝わるメッセージをありがとうございます。「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」は、本市で印刷した冊子のものだけでなく、各学校でアレンジできるようにデータを共有し、各学校で創意工夫できるようにしています。
189	将来のことを考えていくことが大切だと思う。	市立学校では、総合的な学習の時間や特別活動の授業の時間を中心に、子どもたち一人ひとりが将来について考える授業に取り組んでいます。また、自分にしかない「自分のみち」を歩けるよう、「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」を活用しながら、一人ひとりの取組を担当の先生や保護者の方も含め、振り返られるようにしています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるようにしていきます。
190	自分の将来のことについて考える授業をしてほしい。	
191	将来について考える時間を増やした方がよい。	
192	自分の将来や夢について考える時間がもっとあったらいいと思う。	
193	将来の選択肢を増やすことが大事だと思う。	
194	悔いのないような将来(未来)を送れるようにしたい。	
195	将来に向けての取り組みは、地域の発達につながるため良いと思った。	
196	現在のことだけではなく将来を見据えて教育について考えているのがいいと思った。	各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験などに積極的に取り組んでいます。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、キャリア教育に力を入れていきます。
197	自分に何が向いていて何をやりたいのか知るきっかけがもっとほしい。	
198	公務員になりたいと思う人が多い学校。	
199	自分の興味のある仕事や興味のあることについてより深く調べることでより良くなると考えた。	各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会を計画的に行っています。その中で、子どもたちの思いや願いを聞きながら、より良い活動になるように工夫をしています。今後も、子どもたちの思いや願いを大切に活動を進めていきます。
200	子どもの意見をもう少し取り入れてほしい。	
201	将来つきたい仕事などやりたいことに八王子で学んだことを活かしたら自分の未来を自分の力で決めることができ良いと思う。	市立学校では、総合的な学習の時間や特別活動の授業の時間を中心に、子どもたち一人ひとりが将来について考える授業に取り組んでいます。地域の方やさまざまな職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会をつくっています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、寄り添っていきます。
202	進路を決める際に、先生が生徒一人ひとりに丁寧に寄り添ってくれることが良いと思う。	各学校は「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」を通して皆さんの成長や思いを共有しながら指導に活かしています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、寄り添っていきます。
203	中学校では、最低限必要な勉強は単位制にし、それ以外の科目は自由選択にすれば、やりたい事や将来の夢が広がると思う。例えば、体育の先生になりたいのに美術、音楽などは必要がないと考える。	やりたいことができる時間をつくることは、とても大切なことだと思います。しかし、それ以上に市立学校では、全ての子どもたちが、自分の道を自分らしく歩んでいけるよう、様々な学習を計画しています。学習によって、一人ひとり感じ方に個人差はあるかと思いますが、何一つ無駄な授業はありません。学校は、これまでも、そしてこれからも子どもたち一人ひとりの将来に責任をもって寄り添っていきます。
204	素案の中に「主権者」の文字がどこにも見当たらない。選挙があるたびに投票率の低さを嘆く論調が見られるが、それは教育の白旗宣言であり、主権者教育の欠如ゆえの当然の帰結と私には思える。主権者教育は、「4 未来を切り拓く力を育む教育の推進」の「13主体的に社会に参画する力を育成する教育の推進」にあってもいいはずだが、キャリアや職業面への言及に終始しており、主権者としての義務などを学ぶ機会がないように見て取れた。やはり主権者教育も、今後5年間に取り組む施策の一項目として立ててほしいと感じた。政治参加を通じた社会変革の大切さを、小さいときに学んでほしいと思う。具体的には、憲法を読み込む時間、学校用の法律を作ってみる試み、他にも模擬投票・模擬裁判などの機会を設ける、などが考えられる。そうした素地により政治的リテラシーが育まれれば、軽はずみにSNSやショート動画に踊らされたりはしなくなる。社会の一員としての権利や義務を知らされぬまま、当事者意識もなく18歳になり、「はい、あなたは大人です。投票してください」というのは、この社会を創ってきた大人側の責任放棄とも言えると思う。	本市においても現行の学習指導要領の下、社会科、家庭科、特別の教科 道徳、特別活動や総合的な学習の時間において主権者教育に関わる内容を実施し、児童・生徒の主権者としての意識を涵養する取組を充実させています。本施策において、そのような内容が明確になるように文章を修正します。
205	八王子市には研究開発・R&Dを行う起業施設が複数存在する。これらの企業に働きかけ、会社見学（社会科見学）や職場体験、企業活動のPRを行ってもらい将来を担う子供達への意識づけを行ってほしい。	各学校は実態に即して、地域の方や専門家などと連携した職業講話や職場体験活動等を行っています。今後も、将来を担う子どもたちに、望ましい職業観を育てていけるよう、教育活動を充実させていきます。
206	施策13の「現状と課題」の冒頭に「自らが「持続可能な社会の創り手」となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められています。」という表記があります。この表記は、「自らが主権者意識を携えた「持続可能な社会の創り手」となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められています。」という表記にすることを求めます。	ご意見ありがとうございます。「現状と課題」では、学習指導要領に則り、広く解釈できる文言で示しています。主権者としての意識の醸成についても、今後も取り組んでまいります。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
207	施策13の「主な取組」にある、「道徳科や総合的な学習の時間における、子どもたちが自分の良さや可能性に気付く、大切にできる教育の実施」と表記がされています。この表記は、「道徳科や総合的な学習の時間における、子どもたちが社会の一員としての認識を持つことの大切さ、および自分の良さや可能性に気付く、大切にできる教育の実施」という表記に改めてほしいと考えます。 また、「施策の方向」として記載のある「〇社会の一員として役割を果たし、」という目的を達成するための手段が「主な取組」に記載されておらず、不整合の状態であるのを解消する必要があると考えます。	施策の方向性の主旨との整合性をはかり、主権者としての意識の涵養につながる取組の充実となるよう修正します。
208	小中学生にとって、身近な社会とは近隣地域である。各学校教員が地域で行われる行事、催しを大切に、そこに子どもたちの意識を向けさせ、参加・活動することが、一番子どもたちが実感しやすい社会活動であり、それが主体的に社会に参加する力を育成するものだと考える。	各学校では、毎年教育計画を立てて、義務教育9年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育を推進しています。今後も、各学校において実態に即し、創意工夫しながら、児童・生徒、家庭、地域の方の思いや願いを活かした教育活動を各学校で展開していきます。
209	未来を切り拓く力を身に付けるのは将来自分の夢を叶えることに繋がるので大切だと思ふ。	市立学校では、総合的な学習の時間や特別活動の授業の時間を中心に、子どもたち一人ひとりが将来について考える授業に取り組んでいます。地域の方やさまざまな職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会をつくっています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、寄り添っていきます。
210	チャレンジ精神を持って社会貢献性を高めて今後の未来にも役立てたい。	
211	将来自分から挑戦したいことを挑戦できる力を育ててくれる教育の推進が良いと思った。	
212	未来を切り拓く力を育む教育を推進させる考えはいいと思った。しかし、そのようなことをするにはそれ相応の環境が必須だと思った。子どもが学習しやすい環境を作ろうとするなら、ただ単純に塾のような学習できる場所を作るのではなく、学びたい教科によって様々な環境を作るべきだと思った。また、学習面や技術面への力だけを育ませるのではなく、スポーツ面も積極的に行うのも大切だと思った。	各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会を計画的に行っています。その中で、子どもたちの思いや願いを聞きながら、より良い活動になるように工夫をしています。今後も、子どもたちの思いや願いを大切に活動を進めていきます。
213	海外への修学旅行など海外との交流を増やしたり、校外学習を使って様々な職業について知るような活動を増やす。	
214	職場体験やTGGなどの実際に体験できる行事がもっとやりたい。	
215	大人になっていく上でやりたいことにチャレンジする力は、各教科の知識も必要だが一番重要になっていくと感じた。互いに協力しあい、学び合うことは絶対に必要になっていくから。	
216	今を良くするなら色々な意見を取り入れることが大切。それは今の学生が未来を切り開くことだ。	子どもたち一人ひとりが、自分の良さや可能性を知り、自分と関わる人々と協力しながら前に進んでいけるよう、各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、関わりの中で学べるように工夫をしています。また、各教科の授業においても、自分の考えを発表したり、友だちの考えにふれながらより良い解決を目指す学習を大切にしています。今後も、学校だから学べる学びの充実をはかっていきます。
217	もっと活動範囲を広げ人との交流を増やしコミュニケーション能力をつけれるような教育をしていった方が良く思う。	
218	関わる人が多いほど、色々な考え方や知識をもらうことができる。	
219	個人、個人で何をしたいのか意見を言い合えるような授業をしてほしい。	各学校では、様々な教育活動を通して、児童・生徒の皆さんが社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営むうえで必要なマナーやルールを身に付けていけるよう指導をしています。今後も、継続して指導していきます。
220	誰かと意見をわかち合ったりすることを班行動というグループ活動として用いていることがすごい良いと思った。社会では集団行動などのコミュニケーション能力がある程度必要なので他人とのコミュニケーションやそういう社会の場に慣れていく経験を、イベントや行事などを通して増やしていくことがいいと思った。	
221	人の家の庭に勝手に入ったり、夜に道路で遊んでいる小学生がいるからので常識を教えてほしい。	各学校は、1人1台の学習用端末やICT機器の教科等における効果的な活用に取り組んでいます。今後も文房具の一つとして、授業の中で必要な時に必要な人が効果的に活用できる授業づくりをしていきます。
222	パソコンを使用する授業が少ない。	
223	英語を使った授業をしてほしい。	A L Tと連携した外国語活動・外国語科の指導法に関する研修や、オールイングリッシュによる外国語教育研修を行い、教師が英語で授業が行えるよう、外国語教育の充実をはかっていきます。
224	英語の授業について、もっとA L Tによる授業を増やしたほうが良い。	A L Tによる授業も大切ですが、A L Tと連携した授業だけでなく、子どもたちが近隣大学の留学生と英語でやりとりができる授業を実施したり、一人ひとりの学力や学習ペースに合わせて学べるスピーキング学習教材を活用したりできるようにしていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
225	今の英語教育は、将来、英語が使えるようになる教え方ではないと思う。週1回英会話の授業を行うなど、英語が話せるようになる授業をしてほしい。	良い授業、良い学びの機会をつくるためには、教員の指導力が必要不可欠です。教員の指導力向上に向け、ALTと連携した外国語活動・外国語科の指導法に関する研修や、オールイングリッシュによる外国語教育研修など、教師が英語を主体とした指導を行えるよう外国語教育の充実をはかっていきます。また、子どもたちがALTや留学生と英語でやりとりができる授業を行ったり、一人ひとりの学力や学習ペースに合わせて学べるスピーキング学習教材を活用したりしていきます。
226	英語を書くだけでなく、ALTなどを利用して子どもたちに英語を話す楽しさを知ってほしい。	
227	将来、海外との交流が多くなると思うので、ALTを増やすなど英語教育に力を入れてほしい。	
228	英語の授業で外国人と話す機会を増やしてほしい。	
229	英語の授業では、積極的にコミュニケーションを取り、スピーキング力を向上させたい。	
230	tokyo global gatewayのような施設にもっと行き、実際に体験したい。	
231	色んな国のことや、人々のことを学び多くのことを知ることがとても大切だと思います。自分を理解しやりたいことを見つけられる環境が必要。	
232	専門的なことなどで自分の好きなこと、得意なことをどんどん伸ばしていけるようにする。留学をもっと市が推進させる。自分でやりたいことについて学びをできるようにする。	
233	自分が学びたいことをできるようにするためやグローバル化により他の外国の人とコミュニケーションを取れるように英語のより実用的な使い方の学習や他の言語も学べるような環境を作ることが大事だと思った。こうすることで自分がやりたいことができる選択の幅が広がると思う。選択肢を広げられることが大事だと思う。	
234	世界中の人たちとどうやって協力していくのか知りたい。	
235	国際交流を通して、得られる広い視野や異文化への理解力の向上により、グローバル社会で役に立つ人材を作り上げるとともに、世界で活躍できる人材を作れると考える。	自分も相手も大切にできる気持ちや、協力して問題解決に取り組む姿勢は、未来を担う子どもたちにとって、身に付けてほしい力の一つです。今後も、子どもたち一人ひとりがグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材へと成長できるよう、学校を支援していきます。
236	学校内だけではなく、地域全体で教育をしようとしている。世界中の人と協力するのが面白いと思った。	
237	世界中の人たちと協力するために、班活動で人と協力していくことを増やし、問題解決に取り組むことを増やす。	
238	世界で活躍できるような力を持てたら、今よりもっと世界中の人たちと良い関係が築けると思うので、未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	未来を切り拓く力を育む教育を推進し、一人ひとりが望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、今後も子どもたちのための取組をすすめていきます。
239	大谷翔平選手のように世界で活躍する若い力が必要なので、未来を切り拓く力が重要だと思うので、未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
240	夢が決まった時に、チャレンジできるような力や世界で活躍できるような力があつたらうれしい。	
241	将来、つきたい仕事や、やりたいことにチャレンジできるようにになりたい。	
242	学校でもっと色々なことにチャレンジしたい。	
243	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
244	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	未来を切り拓く力を育む教育を推進し、一人ひとりが望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、今後も子どもたちのための施策をすすめていきます。
245	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
246	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
247	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
248	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
249	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
めざす教育の姿2 学校・家庭・地域の連携・協働による教育力の向上（81件）		
施策展開の方向 5 地域とともにある学校づくり		
250	学校に軽音部を作ってほしい。	興味があることや、将来に役立つことに取り組める機会があることは大切だと考えています。これからも、子どもたちがどんなことに取り組みたいのかを聞き取り、学校や地域での活動機会の確保に取り組んでいきます。
251	就きたい仕事に関係するような部活を作れるようにしてほしい。	
252	様々な人とスポーツで交流するため、他校と練習試合を増やしてほしい。	部活動の運営方法や活動内容は、各学校の部活動の方針に基づいて、実際に活動する子どもたちの思いや願いも踏まえながら、顧問をはじめ、各学校で決めています。様々な人とスポーツを通して交流することは大切なことですので、部活動以外でも、そうした機会に子どもたちが参加しやすいよう、活動環境を整えていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
253	部活動をより活発にしてほしい。	学校部活動をより充実した活動内容にするために、特色ある部活動や広域的な部活動には、専門的な指導ができるスタッフを配置する取組をすすめています。また、学校だけでなく地域全体で様々な体験活動の機会を得られるよう、「部活動改革」をすすめているところです。これからも、子どもたちが充実した放課後や休日が過ごせるよう取り組んでいきます。
254	部活の時間を長くしてほしい。	部活動の活動時間については、成長期にある子どもたちが、学校での学習や学校外での活動、その他の食事、休養、睡眠など、バランスのとれた生活を送ることができるよう、平日は2時間以内、休日は3時間以内で設定しています。これは、全国で共通した取組の方向性でもあります。限られた時間の中でも、効率的で効果的な活動を目指して取り組んでいきます。
255	自分達の代で廃部となった部活があって悪いと思った。	少子化に伴って学校によっては生徒数が減少しています。また、教員の働き方改革をすすめていく必要もあります。このため、これまで通りに部活動を継続することが難しくなっていますので、部活動改革をすすめているところです。自分の通う学校だけでなく、他校や地域でもやりたいことができる環境づくりに取り組んでいますので、理解していただきたいと思います。
256	生徒の数が毎年減っているの、部活動の種類が減っている。	自分の学校に希望する部活動がない場合には、他校の部活動に参加することができる拠点校部活動の制度があります。また、子どもたちが参加できる地域活動の情報も公開していますので、その中から取り組みたい活動を選択することもできます。
257	生徒の数が減って、部活の数が少なくなり困っている。	これからも、八王子市全体で子どもたちがやりたいことができる環境づくりに取り組んでいきます。
258	先日、学校部活動の再編として、各中学校の部活動の改革内容が公表されたが、学校により特に改革されていない（部活数が減っていない）学校もいくつかあった。子どもたちにとって、部活動が減ること自体は好ましいとは思わないが、部活動の数が多い学校ほど、生徒が集まりやすいという実態も考慮して対応いただきたい。また、削減された部活動に在籍している生徒へのフォローも市として適切に行ってほしい。	各学校は、令和8年度末の完了をめざし段階的に部活動改革をすすめています。現在は、その改革の過渡期にあたるため、学校ごとに部活動の再編状況は異なります。各学校の部活動改革の状況は、市ホームページ内に掲載している各学校の部活動ロードマップを御覧ください。今後、学校を含めた地域が一丸となって子どもたちの活動機会の確保と拡充に取り組んでいきます。
259	勉強部は面白くて学校に行く大きなモチベーションの要因を担っていたので勉強部は廃部にしないでほしかった。地域とつながりのある教育もいいと思うが生徒同士で教え合ったり語り合うことのできる場もある程度存続させる包容力の高さを出すべきだと思う。	生徒同士で教え合ったり語り合うことができる場があることは、とても大切なことだと思います。勉強部でなくとも、そうした機会が選択肢としてどこかにあることが肝心で、そうした選択ができるよう部活動改革をすすめているところです。ご意見を参考に、子どもたちの学校生活を送るうえでのモチベーションを大切にできるよう、これからも取り組んでいきます。
260	部活動と地域の活動を合体させる。	本市がすすめる部活動改革では、学校と地域が一丸となって子どもたちの活動機会の確保と拡充に取り組んでいます。その一例として、学校施設を地域クラブに貸し出す取組も行われています。色々な連携の仕方があると思っていますので、これからも、部活動と地域のより良い関係やあり方について、子どもたちや地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。
261	施策16の「施策の方向」にある「地域運営学校と地域学校協働活動の一体的推進をはかるための支援を行います。」という「施策の方向」に対して、「主な取組」の欄に「〇地域資源の活用促進に向けた管理職、教員、および学校運営協議会への啓発」を追加してください。	ご意見のとおり、学校や学校運営協議会の活動の地域差をできるだけなくすることは重要だと考えています。なお、「地域資源の活用促進に向けた管理職、教員、及び学校運営協議会への啓発」についても行ってまいりますが、内容としては、同欄にある取組「学校運営協議会委員・教職員等学校関係者への情報提供や研修の実施」に含まれているため、参考とさせていただきます。
262	学校の運営について、お年寄りの方に手伝ってもらえば息抜きにもなるので良いと思う。	現在も、お年寄りを含め様々な地域の方が、ボランティア活動等で学校を支えてくださっています。ご意見にあるように、学校での活動を、ご自身の息抜きや生きがいに感じてくださる方がまだまだ地域にはいると思いますので、引き続き制度の周知活動をすすめています。
263	施策17の「施策の方向」にある「「チーム学校」の機能を十分に発揮できるよう、外部機関や専門家と連携をはかりながら、学校への支援を充実させていきます。」という「施策の方向」を示す表記は、「「チーム学校」の機能を十分に発揮できるよう、学校運営協議会に加え外部機関や専門家と連携をはかりながら、学校への支援を充実させていきます。」という表記に修正いただくようお願いします。	本市の学校において、学校運営協議会は非常に大きな役割を担っており、どの学校も、学校運営協議会との連携をはかりながら、「チーム学校」としての機能を発揮しているところです。記載の内容につきましては、総合的に判断して表記しています。
264	学校が抱える問題解決に向けたスクールカウンセラーとの連携強化は重要な事です。しかし現在のようにスクールカウンセラーが週一回しか学校に来ないのでは、子どもたちの悩みの相談をしたり保護者、担任と面接したりするには時間が不足です。そして、今以上に不登校の子どもが増えてくると思います。都のスクールカウンセラーの日数が増やせないなら他区で行われているように市のスクールカウンセラーを日数を多く配置してほしい。	スクールカウンセラーの都の配置基準では、年間38日、大規模校には年間76日の配置となっています。本市では不登校対策の一環で、保護者や子どもたちの相談に対応するスクールソーシャルワーカーを増員し相談体制を整えています。今後も、子どもたちやその保護者が必要な相談を受けられる体制構築に努めていきます。
265	遠くから通学する生徒のために学校までのスクールバスを運行してほしい。	
266	家が遠い人のために、スクールバスを運行してほしい。	徒歩により通学が困難な地域から、通学区域内または選択区域、許可区域内の市立小学校及び中学校へ交通機関等を利用して通学している児童・生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助しています。今後も通学の安全確保及び保護者の負担軽減のため取り組んでいきます。
267	学校までのスクールバスを運行してほしい。	
268	学校までのスクールバスを運行してほしい。	
269	放課後の時間に安全・安心に過ごすことができれば、とてもうれしい。	
270	放課後の時間にも安心して本が読めたり遊んだりできるのは、大人のボランティアの方々などのおかげだと思う。	地域とともにある学校づくりをすすめ、放課後の時間に安全・安心な子どもの居場所を確保しながら、各施策を着実にすすめていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
271	放課後にスポーツで体を動かしたい。	地域とともにある学校づくりをすすめ、多様な経験や活動を体験できるよう活動プログラムの充実をはかりながら、各施策を着実にすすめていきます。
272	楽しい放課後を過ごせるようにしてほしい。	地域とともにある学校づくりをすすめ、楽しい放課後が過ごせるように、各施策を着実にすすめていきます。
273	地域とともにある学校づくりについてポスターなどで宣伝したら良いと思う。	施策展開5の各取組については、市のHP等により周知をはかります。
274	地域とともにある学校づくりを続けるのは良いと思う。	引き続き地域とともにある学校づくりをすすめていきます。
275	地域の皆さんと一緒に学校生活を送ることで地域の皆さんと学校との仲が深まると思うので、地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	賛成意見ありがとうございます。今後も、地域とともにある学校づくりをすすめ、一人ひとり望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、各施策を着実にすすめていきます。
276	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
277	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
278	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
279	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
280	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
施策展開の方向 6 子どもの学びを支える教育環境の充実		
281	中学校の空き教室を改装して、部室やトレーニングルームにしてほしい。	各学校の教室は、余裕教室（空き教室）になっている場合も、学校を建設する時に、必要な教室数を文部科学省からの補助金をいただいて建てているため、余裕ができたからという理由で自由に改修できるものではありません。現状のまま、使い方を工夫しながら大切に活用してください。
282	学校に本格的なテニスコートを設置してほしい。	『本格的な』という趣旨は分かりかねますが、各学校には授業や部活動を行うためには十分なテニスコートがありますので対応することはできません。
283	バスケットゴールを自動にしてほしい。	各学校には、手動式ですが授業や部活動を行うためには十分なバスケットゴールがありますので、現時点对応することはできません。
284	プールの底の一部が、足がつくギリギリの場所があって危険。	プールの構造上、中央付近が最も水深が深くなっています。最も深い場所で水深1.35mになっている学校もありますので、その付近で立たないことや、体育の先生にプールの水深を浅くしてもらうなど、注意しながらプール授業を受けてください。
285	教室など古い所を直してほしい。	本市には小・中・義務教育学校併せて107校の学校があります。そのため、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良個所の修繕や改修を優先して実施しています。そのため、単に古い施設を新しくするという対応はしていません。今後も、大切に学校施設を使ってください。
286	校舎をもう少しきれいにしてほしい。	
287	古い建物や古いものを改築したり建て替えてほしい。	本市には小・中・義務教育学校併せて107校の学校があります。そのため、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良個所の修繕や改修を優先して実施しています。そのため、古いというだけで施設を新しくするという対応はしていません。今後も、大切に学校施設を使ってください。
288	市の財政に振り回されずに集中して学習できる環境を作ることが必要だと思う。	学習環境の改善をはかるため、1人1台の端末配布にあわせ、全校の照明をLED化したことや、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた自動手洗水栓の導入は、都内自治体の中で最も早い対応です。今後も、児童・生徒の皆さんが学校生活を過ごしやすくなるよう、限られた予算を効果的に活用していきます。
289	水道から温水が出るようにしてほしい。	冬季など、手洗い時に水道水が冷たく感じることはあると思いますが、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良個所の修繕や改修を優先して実施していますので、現時点对応することはできません。
290	水道から温水が出るようにしてほしい。	
291	水道の自動水栓が少し使いづらい。	節水と感染症予防の観点から、令和5・6年度の2か年で全校の手洗い水栓を自動化しましたが、学校の要望に基づき、原則として流し台の1か所は手動式を残していますので、そちらの水栓も活用してください。
292	学校に花を植えるなど、学校の景観をよくしてほしい。	学校に植物を植えるなど、保護者・地域の方々とも協力しながら学校の景観を良くしていけるよう取り組んでいます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
293	学校にエアコンが導入されて学校の中が快適になった。	これまでの普通教室・特別教室の空調機に加え、令和6・7年度の2か年で、学校体育館の空調機についても設置を完了しますので、より快適に過ごせるようになると思います。一方で、空調機の利用は地球温暖化の要因の一つにもなりますので、こまめな節電にもご協力お願いします。
294	エアコンがついて良かった。	
295	エアコンがついて良かった。	
296	エアコンを付けてくれたおかげで、夏に熱中症になる人が少なくなり良いと思った。	
297	体育館より先に第2校舎にエアコンを付けてほしかった。	第2校舎は、普通教室はもちろんのこと、学校要望に基づき特別教室も空調機を設置しています。一部未設置の特別教室があるとは思いますが、春や秋など空調機を使用しない時期に授業を行うことができると考えます。
298	教室を移動をする際にトイレの場所が遠くてトイレに行く時間が取れないので、トイレと教室を近くしてほしい。	各校舎、各フロアにトイレを設置しており、教室からそれほど遠いとは考えていません。時間帯によっては込み合うこともあると思いますので、他のフロアを使用したり、早めに行動するなど対応してください。
299	どの学校にも多目的トイレを設置した方がよい。学校は、避難場所になることが多いから誰もが使えるトイレを作してほしい。	校舎、体育館、武道場など、学校によって設置場所は異なりますが、全校にバリアフリートイレ（従来の『多目的トイレ』を『バリアフリートイレ』と表現しています。）を設置しています。
300	学校によって、理科の実験道具や運動の用具など設備や用具に差があるように思う。どこでも充実した学びを提供してほしい。	学校の教材教具などは、各学校で設備状況を判断し、各学校の予算の範囲内で整備しています。今後も市教育委員会では、各学校の予算確保に努めます。
301	生徒の数を増やすためには、小中一貫校にするなどして学校数を減らした方がよい。	本市では、「市立小・中学校再編基本方針」を定めており、再編により学校の適正規模化をはかることを方針の一つに掲げています。今後、地域の特性を考慮しながら学校の再編をすすめていきます。
302	少子化で1クラスになっている小学校が増えているので、小学校を再編すると良いと思う。	本市では、「市立小・中学校再編基本方針」を定めており、再編により学校の適正規模化をはかることを方針の一つに掲げています。今後、地域の特性を考慮しながら学校の再編をすすめていきます。
303	クロームブックが重いから持ち帰るのが大変	学習用端末を持ち帰ることで、自宅でもオンラインのドリルなどの学習に取り組むことができます。荷物の持ち帰りの負担については、重すぎて健康や安全など支障があるようなら、学校の先生と相談して、学校に置いていってよいものと持ち帰るものを整理するなど、工夫するようにしています。
304	パソコンで調べ学習などをする時にブロックされることが多い。安全のために仕方ないことだと思うが、たまにすべてブロックされて何も調べられないことがある。	学習用端末では、皆さんを有害サイトから守るために、フィルタリングソフトを導入しています。しかし、学習をより効果的に充実させるために学習用端末を貸し出していますので、いただいたご意見を参考にしながら、これからも子どもたちの学びの環境整備に努めていきます。
305	学習用端末を使ってゲームをしたり、YouTubeを見たりしている人が多く見受けられるので、もっと厳しく制限をかけてほしい。	学習用端末のインターネット利用制限については、子どもたちの安全を守るうえで必要なものと考えています。一方で、これからの社会を生きていく子どもたちには、強制的に制限されなくとも、パソコンなどの情報機器を正しく使う態度や知識を身に付けてもらいたいとも考えています。有害なサイトなどには制限をかけたつても、子どもたちが自ら判断し、適切に使えるよう支援していきます。
306	学校にパソコンが導入されて良い。	学習用端末の貸し出しにより、子どもたちの学習環境が大きく変わり、より充実した学びができるようになってきていると思います。社会全体で、情報化はますます進んでいきます。これからも学校教育の環境充実に努めていきます。
307	プロジェクタが配備されているが、安価な大型液体を2台程度、教室の左右角に配置して常に教師から情報を与えられるようにした方がよい。また、教師が作成した教材（資料・動画・PDFなど）は現在有線で接続しているが、CromeCast等の無線接続を推進し、利便性を高める。	無線接続に関しては、各学校に2台ずつMiracastを配布しています。今後も教育現場で活用できる機器の調査を継続し、より効果的な活用を検証していきます。
308	保護者からICT活用方法などの意見を募ったり、ボランティアで活用の事例を学び合うと良い。	本市では、全市立小・中・義務教育学校が地域運営学校として地域住民や保護者などが一定の権限と責任をもって学校運営に参画することで、地域に開かれた信頼される学校づくりをすすめています。今後も、保護者や地域の声をお寄せいただくことで、子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進めていきます。
309	ネット環境を良くしてほしいと思った。今よりも多くの人の意見を知りたいのでパソコンを使って共有できるようにしてほしい。	子どもたちがストレスなく学習用端末を使えるよう、インターネット環境の改善に取り組んでいるところです。これからも、国の整備指針や八王子市版GIGAスクール構想に基づいて、インターネット環境の改善に努めていきます。
310	インターネット環境を整えてほしい。	
311	良い授業は生徒とともにできるようにすると思うから、授業についてアンケートを実施するのが良いと思う。	各学校では、授業アンケート等を実施し、授業改善に努めています。これからも、御意見を参考に、より良い授業づくりに取り組んでいきます。
312	先生の授業の質を教育委員会が審査し、より高度な教育を促し、知識・技能の定着がより深まるようにする。	市教育委員会では、教員研修や各校の校内研究等を通して、先生方が授業力向上に取り組む機会を作り、より質の高い授業を行えるよう、指導・助言を行っています。これからも、教師の授業の質の向上に、市教育委員会もしっかり関わっていきます。
313	学びを得ようとする意欲の原動力は、それを学びたいと思う楽しさやモチベーションだと思うので、楽しさのある授業や学校づくりを行うのはいいことだと思う。	学ぶ意欲の向上と、そのために興味・関心が高まるようなきっかけを作ることは、とても大切なことだと考えています。これからも、子どもたちが楽しいと思える授業や学校づくりに取り組んでいきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
314	もっと学校に行きたいと思えるような、不登校をしている人をもっと減らすような、そんな学校するため研修を重ねてほしい。	不登校の問題への取組として、魅力ある学校、子どもたちが学校に行きたいと思えるような学校づくりはとても大切だと考えています。市教育委員会や各学校では、教員研修や先生方の情報交換の場も増やしたり、不登校の子どもたちへの支援体制を強化し、誰もが安心して居場所づくりなどに取り組んだりしています。みんなが安心して通いたいと思える学校を、子どもたちと共に作っていききたいと考えています。
315	八王子の市立小・中・義務教育学校は「地域運営学校」ですので、学校運営協議会とともに学校経営を決めていくということを明確に表記していく必要があると考えます。施策24の「現状と課題」にある「信頼される学校経営をめざして、校長がリーダーシップを発揮し、教職員全体で学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校評価などの充実をはかる……」という表記は、「信頼される学校経営をめざして、学校運営協議会との連携のもと、校長が校長本人に適したタイプのリーダーシップを発揮し、教職員全体で学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校評価などの充実をはかる……」という表記に見直しをお願いします。	信頼される学校経営について、本市の市立小・中・義務教育学校においては、各学校の学校運営協議会との連携が重要な観点であると認識しています。また、校長のリーダーシップには様々なタイプがあり、それぞれの特長を活かして、信頼される学校経営を実現することが大切であると認識しています。今後も、信頼される学校経営の実現に努めてまいります。
316	教員の時間短縮を可能にする改善要素は、部活動指導だけでなく、それ以外の業務も含めて時間短縮を実現することが必要であるため、施策25の「施策の方向」にある「校長・副校長を含む教員一人ひとりが時間を意識した働き方を実践できるよう意識改革をすすめます。」という表記を、「校長・副校長を含む教員一人ひとりが時間を意識した働き方や時間短縮を可能にする業務改善を実践できるよう意識改革をすすめます。」という表記に見直しをお願いします。	教員の長時間労働を改善していくためには、まずは実態としての在校等時間を客観的に把握し、校長・副校長を含む教員一人ひとりが時間を意識した働き方をしていくことが重要です。さらに、時間を意識した働き方をする中では、ご意見のとおり、当然、時間短縮を可能にする業務改善が必要となってくるものと考えます。本計画をより具体的に実効性があるものとするために、ご意見を踏まえた表記に修正します。
317	子どもたちの活動を減らすことで、働き方改革が行われている面が強いと感じる。教員へのサポートスタッフに対する予算を増額し、子どもたちの活動を極力減らすことなく、働き方改革が行えるように進めてほしい。	教員が抱える業務のうち、教員でなくてもできることを外部人材に行ってもらうことは、教員の長時間労働を改善していくための効果的な対策の一つであると考えます。スクール・サポート・スタッフは、教員の児童・生徒への指導や教材研究等に取り組む時間を確保するため、教員に代わって学習プリントや授業の準備、採点業務等の補助などを行う外部人材であり、現在、市立小・中・義務教育学校全校に原則1名（大規模校等には2名）を配置しています。スクール・サポート・スタッフは、都の事業を活用して配置しているものですが、配置時間や人数の更なる拡大等については、都の動向や学校現場のニーズを注視しつつ、その必要性について検討していきます。
318	1クラスに生徒が40人いると教室が狭い。	市教育委員会では、今後も35人学級等について、国の動向を注視していきます。
319	パソコンを使用するために横長で広い机を配備してほしい。	現状の教室の広さでは、配備できる机の大きさや数量が制限されてしまうことから、各学校の状況等を鑑み、対応を検討していきます。
320	子どもの学びを支える教育環境の充実について、どのような学校づくりをするか知りたい。	子どもの教育環境や学校づくりをどのようにすすめていくか、子どもや保護者、地域の方々には伝わるよう、必要な情報をしっかりと発信していきます。
321	自分の意見から自分の人生が始まると思うので、自分の意見を自由に言える環境があったら安心できる。	
322	教育環境の充実には私達子どもにとってやりがいや、やる気となると思い、これがあれば子どもたちの自主性なども育てられると思った。	
323	これからの未来を担う私達にとって学ぶことはとても大事だと思う。そしてそれを学ぶためにはそれ相応の環境が必要だと思う。だから、中学生などにアンケートを取ったりして、より私達が学びやすい環境を作してほしい。	
324	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
325	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	賛成意見ありがとうございます。子どもの学びを支える教育環境を充実し、一人ひとり望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、各施策を着実にすすめていきます。
326	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
327	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
328	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
329	楽しい学校生活を送りたいので、子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
330	学びを得ようとする意欲の原動力は学ぶ楽しさやモチベーションだと思うので、楽しい学校づくりを行うのには賛成。	
めざす教育の姿 3 あらゆる人がともに学びあう生涯学習の振興（47件）		
施策展開の方向 7 市民がつながる生涯学習の推進		
331	学んだことを、誰かと分かち合えることはとても良いことだと思う。	学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験を誰かと分かち合い、地域や社会で活かすことのできる環境づくりをすすめていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
332	年齢に関係なく市民が参加できる勉強会を開催してほしい。	生涯学習センターでは、教養の向上や健康増進、趣味や仲間づくりにつながる多種多様な市民講座を開催しています。今後も様々なテーマの講座を企画・開催し、市民の方がいつでも学ぶことのできる環境づくりをすすめていきます。
333	勉強会とかあったら面白そうだなと思った	
334	生涯学習について、専門的なことを学ぶ場所がなくても、学習する機会があれば少なくとも知識がしっかりとつくと思う。	
335	施策19の「施策の方向」にある「子育てについて悩みや不安がある保護者向けに、保護者同士で情報交換や相談し合える機会を提供します。」という施策の方向を補強するために、施策 26「誰もが学べる環境の整備」の「主な取組」にある「生涯学習プランの策定」という主な取組の範囲に、「親としての成長を育む機会の提供」という要素が含まれるよう定義づけの見直しをお願いします。	現在策定中の生涯学習プランにおいて、地域学校協働活動をはじめとした学校・家庭・地域の連携に重点を置いた施策を展開しております。これは、子どもたちの支援でつながった大人たち自身の新たな学びの創出を目指すものであり、保護者自身が親として成長することも含まれていると考えております。保護者の子育てについての悩みや不安を取り除き、地域全体で親子の成長を支える地域学校協働活動事業や家庭教育支援事業などの施策を着実にすすめていきます。
336	無料でいつでも誰でも使えるような自習室を設けてほしい。	生涯学習センターでは、予約の入っていない部屋を自習室として学生に無料開放しています。今後も学生が気軽に自習できるような環境づくりに努めます。
337	遊ぶ場所も増やしてほしいけど、無料の自習室も増やしてほしい。	
338	もっと学習する場を増やすために自習場所を作ったほうがいいと思う。	
339	近場で勉強できる環境がほしい。	
340	市民がつながる生涯学習を推進する取組に賛成する。	賛成意見ありがとうございます。市民がつながる生涯学習を推進し、一人ひとり望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、各施策を着実にすすめていきます。
施策展開の方向 8 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション		
341	もっとたくさんのスポーツをやってみたい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。
342	子どもから大人まで一緒に楽しめるスポーツをしたい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。 友達や仲間、親子で楽しみながらスポーツ体験ができる機会を創出します。
343	子どもと大人が一緒にスポーツをする機会がない。	
344	年齢に関係なく市民が参加できるスポーツ大会を開催してほしい。	スポーツ関係団体と連携し、各種大会や教室等のスポーツイベントを開催します。
345	定期的に市民が参加できるスポーツ大会を開く。	
346	年に2回くらいに年齢ごとにスポーツ大会を開く。	
347	地域の人ももっと関わる機会を増やし、年齢関係なくすべての市民が楽しめるように、八王子にある大きいホールなどで定期的にスポーツに触れ合える場を増やす。	
348	多種多様なスポーツができる施設を作って地域のスポーツ大会などを開くのがいいと思った	既存のスポーツ施設を継続的且つ安全に利用できるよう、適切なマネジメントを実施しつつ、大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得るなど、場の確保・充実に努めます。また、スポーツ関係団体と連携し、各種大会や教室等のスポーツイベントを開催します。
349	子供から大人まで楽しめる色んなスポーツができる（体験）場を作って欲しい。	
350	子供から大人まで楽しめるスポーツを体験できる場を作って欲しい。	
351	適度な運動をし病気の予防ができる、健康的な運動ができる施設を増やしてほしいです。	
352	運動ができる場所を増やしてほしい。	既存のスポーツ施設を継続的且つ安全に利用できるよう、適切なマネジメントを実施しつつ、大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得るなど、場の確保・充実に努めます。
353	もっとサッカーコートを作してほしい。	
354	地域のスポーツクラブやスポーツジムと連携して、学校でも様々なスポーツを体験したい。自分に合ったスポーツを見つけることができ、健康維持にもつながる。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。 また、市内のスポーツ団体等と学校が連携し、学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施します。
355	年齢関係なくスポーツを楽しめるのは良いと思った。	誰もが自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけ、スポーツが充実した生活の一部として定着し、生涯を通じてスポーツに親しめるよう各施策を着実にすすめていきます。
356	地域の方と協力してスポーツを親しめる場所を作っているのが良いと思う。	
357	私は将来ダンサーになりたいと思っていて、ダンスは国際的にも活動が増えている。なので、海外でも通用するようなダンス、スポーツなどにも八王子市は力を入れていき、将来八王子市で生活する子どもや大人がやりたいと思ったときに挑戦できる、市民に誇れるような改革をしたほうが良いと思う。	
358	誰もが健康でいることができるのでいいと思う。	
359	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションの取組に賛成する。	
360	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションの取組に賛成する。	

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
361	どんな人でも活躍できるからスポーツを推進してほしい。	年齢、障害の有無といった多様性を受入れ合い、だれもがスポーツを楽しめるよう取り組みます。
362	町のみんが健康になれるだけでなく、スポーツにも興味を持つことができれば楽しくなると思う。	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションを推進していけるよう各施策を着実にすすめていきます。
363	いろいろなスポーツイベントやスポーツを支えるボランティアが増えてほしい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。やりがいや達成感が得られるスポーツボランティアに参加できる機会を拡充します。
364	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションについて、具体的にどのようなことをするのか知りたい。	スポーツ・レクリエーションに関する取組や今後の方向性については、「第2期八王子市スポーツ推進計画」に掲載します。
365	バスケットをやっているの、公園にたくさんバスケットゴールを置いてほしい。	公園について、老朽化した施設の更新時期などに合わせて、必要に応じてスポーツ施設や遊具などの新設を行っています。その際、公園の位置や規模、周辺の状況、及び近隣住民の方々の意見などを鑑み、整備する施設の内容を検討しています。今回いただいたご意見を公園管理部署とも共有し、対応について検討していきます。
366	小野田中央公園にサッカーゴールをつくってほしい。	
367	球技ができる場所をつくってほしい。	
368	球技が楽しめる、できる、公園を増やしてほしい。サッカーゴールやバスケットボールがある公園を作ってほしい。球技ができる公園が減り、子どもたちが外で遊ぶことが減ってきている。	
369	施策展開の方向8「誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション」の名称について、「レクリエーション」よりわかりやすい言葉にしてほしい。	体や頭を使った遊びやゲーム、キャンプや自然の体験活動など、自由時間に娯楽として行う活動全般のことをレクリエーションと呼んでいます。レクリエーションという言葉が用いられた名称の団体も多く存在しており、一般用語であると考えております。
施策展開の方向 9 市民が誇れる歴史文化の保存・活用		
370	八王子の歴史や文化が守られるのはうれしい。	市民が誇れる歴史文化・伝統芸能を保存し、後世へ継承していけるよう八王子市文化財保存活用地域計画に基づき、各施策を着実にすすめていきます。
371	文化や風習を理解し、守り、そして後世へと伝えていくことが大切だと思う。	市民が誇れる歴史文化を理解してもらうための啓発を行い、後世へ継承していけるよう八王子市文化財保存活用地域計画に基づき、各施策を着実にすすめていきます。
372	学生だけでなく大人も学ぶことができる博物館や資料館を運営していく考えがいいと思った。	年齢・世代を限定することなく、誰もが本市の歴史・文化の魅力を学び、人とひと、人と情報が出会い、活動が生まれる賑わいのある施設としていきます。また、新たな博物館施設については、自習スペースも整備する計画となっています。
373	八王子の歴史や文化財を調査・研究し発信することで、その価値や魅力が子どもたちに伝わると思うので、市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組に賛成する。	市民が誇れる歴史文化の保存・活用をしていけるよう八王子市文化財保存活用地域計画に基づき、各施策を着実にすすめていきます。
374	桑都日本遺産センター 八王子博物館や絹の道資料館などで歴史や文化財を保存して、みなさんの学習に役立てられるようにすることがとてもいい案だと思った。	
375	社会の授業で勉強した八王子の歴史文化について、もっと知ることができる施設を作ってほしいので、市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組に賛成する。	
376	市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組は八王子の歴史が学べて良い。	
377	市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組に賛成する。	
その他（31件）		
378	昼休みをもう少し長くしてほしい。	各学校の1日の生活時程については、子どもたちに無理な設定になっていないか、市教育委員会も確認しています。これからも、学校と市教育委員会が協力しながら、子どもたちの学びが充実するような学校生活を支えていきます。
379	給食の時間が遅いから4時間目くらいには集中できていないので給食の時間を早くしてほしい。	
380	地域によって内申のとりやすさが変わるの是不平等だと思うのでどうにかしてほしい。	評価は、各学校の授業を担当する先生が指導した内容が身に付いたかどうかをはかるものなので、市で一律の基準を決めていません。これは、東京都でも、日本全国も同じです。ただし、各学校での成績のかたよりがいちじるしく出ないよう学校間での確認はしています。これからも、各学校で「適正で信頼される評価」の実現に取り組んでいきます。
381	内申点などの成績の基準を市で定めてほしい。	
382	校則に、髪の色を指定を少なくしてほしいです。	社会生活を営むうえで一定のルールは必要なので、子どもたちには各学校の生活のきまりは大切にしてもらいたいと思います。ただし、生活のきまりや校則については、学校や児童・生徒、地域の実態、合理性などを考慮して、必要に応じて見直ししたり、改善したりすることが大切だと考えています。みんなが納得して守るルールとなるためには、子どもたち自身の意見も必要と考えており、子どもたちにも「どうすればみんなが納得のいく形になるのか」ということを考えながら、学校生活を送ってもらいたいと考えています。
383	制服のスカートの丈を自由にしてほしい。	
384	ジャージ登校を認めてほしい。	
385	個性個性言うなら、私物の色だとか見た目を規制する校則を無くすべきだと思う。自分を否定されているように感じる。	

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
386	自転車通学を認めてくれてありがとうございます。	自転車通学については、各学校が在籍する生徒の実態を踏まえて決めています。また、自転車通学を認める場合にも、希望がある場合に自転車通学を選択できるようにしています。
387	自転車通学を認めてくれてありがたいです。	
388	もう少し人住民が多い所に学校を建ててほしかった。	学校建設当時と比べて、学区内の住民構成や、通学する生徒の住むエリアなどが変化し、ご意見のような状況となっているものと推測されます。今後、学校を建設（再編）する際には、そのような地域ごとの現状を考慮しながら検討していきます。
389	学校が通学しにくい場所にある。	学校は必ずしも学区内の中央に設置されているわけではないため、ご意見のように通学しにくい状況となっている方がいることは認識しております。今後学校を再編する際には、通学区域の変更も含め、できるだけ通学の負担が軽減できるよう検討していきます。
390	学校が家から遠くて行くのが大変。	ご意見にあるように、地域によって学校までの距離等が違い状況があることは認識しています。今後学校を再編する際には、安全安心な通学手段の確保も含めて検討していきます。
391	バスの本数を増やしてほしい。	路線バスの本数が少ない交通不便地域があることは認識しています。いただいたご意見を関係所管と共有します。
392	バスの本数を増やしてほしい。	
393	バスの本数が少ない。	
394	上恩方地域のバスの本数が少ないから増やしてほしい。	
395	自分の家が学校よりも奥で、雨が降った時にバスで丁度いい時間がない。	
396	バスや電車の交通費を安くしてほしい。	徒歩により通学が困難な地域から、通学区域内または選択区域、許可区域内の市立小学校及び中学校へ交通機関等を利用して通学している児童・生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助しており、今後も通学の安全確保及び保護者の負担軽減のため取り組んでいきます。
397	高尾駅にでるのが不便なので、セグウェイや電動自転車など移動に便利な物は各所に設置してほしい。	市として子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、夢と魅力あふれるまちづくりをすすめていることから、いただいたご意見を関係所管と共有します。
398	高尾駅の南口を無料にしてほしい。	
399	学校の近くに大きなスーパーを作れば学校の生徒数が増えると思う。	
400	学校の周りに大きい店が少ない。	
401	カメムシが大量発生している。	カメムシは、毎年大量発生するものではないと考えていますが、児童・生徒の教育環境を守るよう取り組んでいきます。
402	自転車は免許があった方が良くと思った。また、自転車専用レーンなどを作ると事故は減ると思う。	いただいたご意見を関係所管と共有し、子どもたちが安全に登校できるよう取組をすすめていきます。
403	野生動物（サルやイノシシ）が多いので対策してほしい。特に最近サルをよく見かけます。	
404	山に近いものがあるが、夜出かけている時にイノシシなどが出て困っている。	
405	たくさん公園を増やしてください	いただいたご意見を関係所管に共有します。
406	大きい公園をつくってほしい。	
407	公園を増やしてほしい	
408	計画に書かれていることはあんまり実現されてないと思った。	計画にある各施策の実現に向けて各取組を着実にすすめていきます。

(5) 第4次八王子市教育振興基本計画素案のパブリックコメントの意見の概要と市教育委員会の考え方

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
第1編 総論		
基本理念について（2件）		
1	基本理念の最初の2行にある「障害のあるなしや性別、経済事情などにかかわらず」という表現は、削除するのが妥当であると考えます。多様性を表す表記として、第3次教育振興基本計画立案の際に作られた文言ですが、むしろ例示することによって多様性の範囲を狭めてしまっています。また、「障害のあるなし」が冒頭に出てくる必然性が薄く、唐突感があります。これらの理由から、冒頭2行の削除を求めるものです。	本計画の基本理念の説明文「障害のあるなしや性別、経済事情などにかかわらず」には、ご意見の趣旨のとおり、多様性を表していますが、基本理念の意図と異なるように捉えられてしまわないよう、ご意見を参考に表現を修正します。
2	基本理念の7行目にある「あらゆる人がともに学びあえるように。」という表現は、「あらゆる人がともに学びあい支えあえるように。」という表現に改め、広がりを持たせることが妥当であると考えます。	本計画の基本理念の説明文「あらゆる人がともに学びあえるように。」には、人とひと、人と地域がつながり、学びを展開していくことで学びの循環を推進し、学びあう仕組みづくりに取り組むことを意図しています。あらゆる人がともに学びあう生涯学習を振興していけるよう、本計画に掲げた施策を実現していきます。
第2編 各論 今後5年間に取り組む施策		
めざす教育の姿1 はちおうじっ子の「生きる力」の育成（247件）		
施策展開の方向 1 確かな学力を育む教育の推進		
3	楽しいと思える授業を増やしてほしい。	市立学校に通う全ての子どもたちが、楽しいと思える授業づくりをしていきます。そのためにも、子どもたち一人ひとりが「わかった。」「できた。」「また学びたい。」と思える授業、学級の友だちと意見を交流しながら学びが深まる授業をつくっていきます。
4	学びたいと思える授業づくりがいいと思った。	
5	学校などで学ぶことが楽しいと思えればもっと関心を持ち積極的に学べと思う。	
6	授業中に、意見交換や話し合いの時間をもっと多く取り入れてほしい。	市立学校に通う全ての子どもたちが、楽しいと思える授業づくりをしていきます。そのためにも、一人ひとりを大切にする学びと他の人たちと学び合えることを一体的に実現します。子どもたち一人ひとりが、「わかった。」「できた。」「もっと学びたい。」と思える授業、学級の友だちと意見を交流し、学びが深まる授業づくりとともに、一人ひとりが安心して学習に取り組める環境づくりに努めていきます。
7	教科の中で覚えておいた方がよいポイントを教えてほしい。	
8	記憶に定着するような授業をしていて良いと思う。	
9	もっと学びたいと思ってもらうためには、専門の先生や講師の方の授業はとても楽しく聞けて興味を持つきっかけになったこともあるので、このような授業の時間を今までよりも増やしてほしい。	
10	意見を出すのが恥ずかしいと思う人がいるので発言しやすいように班などの話し合いを増やした方がよい。	
11	班で意見を出し合い発表するような活動を増やしていく	
12	わかった、できたと思えるような授業を受けることで学習意欲も上がるのではないと思う。	
13	学力別に少人数に分けて授業をやしてほしい。	
14	習熟度別クラスでの授業ではお互いに意見を出し合い、思考力を高めていきたい。	
15	生徒によっては学習の進むスピードもバラバラなので、個人に合わせて学べるようにしてほしい。	
16	もっと一人ひとりに寄り添った教育をしてほしい。	
17	一人ひとりにあった教育をすべき。	
18	自分の確かな学力を身につけるためにその人の実力に合った教育やサポートする人が必要だと思った。	
19	授業中に騒いでいる人がいる。	
20	生徒同士が学び、学ぶことが楽しいと思えるような環境づくり。	
21	誰でも学力が向上できる学習環境が必要。	
22	苦手な教科でも自分からやろうかなと思える環境や心情作りが必要。	
23	生徒一人ひとりが過ごしやすい環境作り、たとえば学校に行けない人がいたとしても支援をし、自分だけではなく周りの人と協力しながら八王子（の教育）をより良いものにするために行っている。普段の授業を学んでみて、毎時間の授業がただ話を聞いているのではなく生徒の皆が楽しく、明るく学ぶために班と話し合う場を作ったり、pcを使ったりする教育をしていると思う。	
24	タブレットを活用した授業を増やしてほしい。	子どもたち一人ひとりに配布している1人1台学習用端末（タブレット）を効果的に活用した授業づくりをしていきます。
25	先生の意見をメモできるように教科書の紙を鉛筆で書けるものにしてほしい。	学校では教科書の材質を変えることはできませんが、日常のノートの使い方を含め、授業中のメモの取り方など、子どもたちの実態に応じた対応を行っていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
26	私はインフルエンザで授業が受けられない日が多くあった。でも、体調は優れていたのも勉強をしたかった。このような場合でも勉強出来るようにしてほしい。	体調に応じて家庭でも学習に取り組めるよう、学習用端末を使ったオンライン配信や課題配布など、子どもたち一人ひとりの状況に合わせた対応をしていきます。
27	施策1の「主な取組」にある「アシスタントティーチャーの活用」という表現は、「アシスタントティーチャー未配置校への配置促進および活用」という表現とすることを検討願います。	児童・生徒の個々の課題に応じた基礎的・基本的な学習内容の定着のため、今後も、配置による効果を評価しつつ、アシスタントティーチャーの適正配置を行います。
28	自主学習の授業を増やすべきだと思う。	市立学校に通う全ての子どもたちが、楽しいと思える授業づくりをしていきます。そのうえで、一人ひとりが学びたいことを学べるよう、家庭学習等についても主体的に取り組めるように取り組んでいきます。
29	自主学習の時間がほしい。	
30	自習の時間がほしい。	
31	放課後に補習教室があるのは、自習しやすくて助かった。	
32	学校に自習室を設置してほしい。	教室の設置については、学校の事情等もあるので難しいですが、学校に通う子どもたちが安心して学習できる環境づくりに取り組んでいきます。
33	家の事情で、家で復習できない人のために、学校で復習する時間を確保してほしい。	
34	授業の中で、理解できないところがあったらもう一度やり直せる補習教室を実施してほしい。	
35	学校の中で、自主性をもっと増やしてほしい。	
36	学校の中で、自主性を増やしてほしい。	子どもたち一人ひとりが望む未来に向け、挑戦する力を身に付けられるように、これからも分かりやすい授業づくりに取り組んでいきます。
37	学力を育むため施設などを設置することは良いと思った。	
38	「もっとやりたい」と思える授業は、どんどん学んでいけると思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
39	充実した授業を受けることができれば学校が楽しいと思う人が増えると思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
40	「分かった、できた」や「もっと学びたい」と思えるような授業は、勉強好きで自分から学ぶ好奇心旺盛な子が増えると思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
41	学校で授業を受けていて「もっと学びたい」と思うので、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
42	将来が楽しくなりそうだから、確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
43	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
44	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
45	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
46	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
47	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
48	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
49	確かな学力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
50	確かな学力を育む教育の推進に賛成です。	
51	自分で学ぼうとしようとする力は大事だと思うので確かな学力を育む教育の推進に賛成。	
52	小中一貫教育グループ内で合同で行う活動といっても、回数も数えるほどで継続性のないものばかりが実情である。特に中学校教員がこの必要性・大切さを理解しない限りは、小中一貫教育は難しい。また、小中一貫グループ校として取り組んでいても、現状の中学校の学校選択制を見直さない限りは継続性の確保は難しい。	小中一貫教育の基本方針にも挙げていますが、本市では保護者・地域の方々とともに、地域の子どもは地域で育てる意識を共有し、「地域を、地域で、地域とともに学ぶ」ことのできる、地域の特色ある活動と関連付けて行っています。今後も地域の活動への参加を推進し、継続的に取り組むことができるよう、各学校が工夫をし、取り組んでいきます。
施策展開の方向 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		
53	道徳は、人を大切にすることを育てるための授業だと思う。	道徳については、授業だけでなく、学校の教育活動全体の中で学べるようにしています。道徳科の授業においても、日常生活について振り返り、子どもたち一人ひとりが自分もお互い大切になれるよう、今後も充実させていきます。
54	一度やった道徳の単元を何度もやるのはやめてほしい。	道徳科の授業については、年間35時間計画的に実施しています。同じような内容がありますが、授業の中で、日常生活と結び付けて考えていけるように、今後も道徳教育をすすめていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
55	月に1回か2カ月に1回に、あいさつ運動を行う。	現在、各学校であいさつ運動を実施しています。あいさつにより、お互いが気持ち良い生活を送ることができます。学校によっては、年間何回か設定している学校もあります。各学校のようすに合わせて、今後もあいさつだけに限らず、豊かな心を育む取組を推進していきます。
56	命の大切さを大人にも教えた方が良いと思う。	本市では、各学校において年間1回道徳授業地区公開講座を実施しています。道徳授業地区公開講座の中で、保護者や地域の方と学校が道徳科の授業を通して、共通のテーマで共に考える時間を設けています。今後も学校だけでなく、保護者や地域を含め子どもたちに関わる大人が共に道徳について考える時間を大切にしていきます。
57	高齢化が進んでいるので、主に介護に関係した授業に取り組んだ方が良いと思う。	学校では、道徳の授業を年間35時間計画的に実施しています。例えばその計画の中に「思いやり、親切」という内容項目があり、その授業を通して、高齢者の方との関わり合いについて取り上げ、一人ひとりが自分事として振り返られるようにしています。
58	施策3の「施策の方向」にある「自他をかけがえのない大切な存在であるという気持ちを育み、多様性を高め合う共生社会の実現や人権教育を充実します。」という表記は、「自他をかけがえのない大切な存在であるという気持ちを育み、多様性を高め合う共生社会の実現や、障害者理解、インターネットによる人権侵害の防止などの多面的な人権教育を充実します。」という表記にすることについて、検討をお願いします。	人権教育については、一人ひとりの子どもたちが発達段階に応じて、多様な人権課題に向き合うことが大切であると認識しており、障害者理解やインターネットによる人権侵害についても、人権教育の推進の中で取り扱っています。今後もさまざまな人権課題を取り上げ、子ども達の人権感覚や人権意識を醸成していけるよう取り組んでいきます。
59	施策3に「障がい理解教育の推進」を主な取り組みに加えてください。	人権教育については、一人ひとりの子どもたちが発達段階に応じて、多様な人権課題に向き合うことが大切であると認識しており、障害者理解やインターネットによる人権侵害についても、人権教育の推進の中で取り扱っています。今後も一つの人権課題を取り上げるだけでなく、様々な人権課題を取り上げ、子ども達の人権感覚や人権意識を醸成していけるよう取り組んでいきます。
60	みんなを大切にできる教育が良いと思う。	子どもたち一人ひとりが、自分も友だちも大切にできる心が育つよう、道徳科の授業を中心に取り組んでいきます。今後も、一人ひとりの心を育てる環境づくりに取り組んでいきます。
61	友達を大切にしたいので、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
62	親とか友達を大切にすることはとてもいいことだと思う。	
63	自分や家族、友達、周りの人を大切にできる心は人間として必要なことだと思う。	
64	自分を大切にすることで他の人だけでなく物事も大切にできて何事も大切にできて良いと思う。	
65	悪口や相手を傷つける発言を言ってしまうのもっと発言を直したほうが良い。	
66	みんながみんなを尊重し合っていて良いと思う。	
67	みんな仲良くて良かった。	
68	差別のない学校生活にしてほしい。	
69	学校には色々な人がたくさんいる。	
70	スクールカウンセラーによる一斉カウンセリングの頻度を増やす。それによって、相談することへの抵抗をなくし、より充実したストレスのない学校生活につなげる。	本市では、児童・生徒一人ひとりと先生方などの信頼関係を築き、相談・指導につなげるために、週1回「いじめ対応のための時間」を市立学校全校に設定しています。今後も、学校に通う全ての子どもたちが安心して相談できる環境づくりをすすめていきます。
71	いじめを未然に防ぐことも大切だが、実際に起きてしまった時に、言い出しやすい環境を作ることも大切だと思う。	
72	いじめを無くしていきたいと思う。	市立学校では、いじめの防止に向けた取組に力を入れています。子どもたち一人ひとりがいじめの防止に向けて自主的に考え、「いじめは、絶対に許さない」という気持ちを大切にできるよう、今後も取組の充実をはかっていきます。
73	学校ではいまだに「いじめ」が続いており、そのせいで学校を楽しめない人がいるので、いじめ対策を追加してほしい。	どんな理由があっても「いじめ」は許されるものではありません。この考え方は、学校だけでなく、家庭や地域においても同じです。子どもたちを見守る大人が、子どもたちのSOSや変化にいち早く気づき、手を差し伸べてあげられるよう、今後も大人が協力していきます。
74	心の悩みを聞いてくれる取組をしてほしい。	本市では、小学校第5学年と中学校第1学年、義務教育学校第7学年を対象としたスクールカウンセラーによる全員面談や児童・生徒一人ひとりの信頼関係を築き、相談・指導につなげるために、週1回「いじめ対応のための時間」の設定などを実施しています。今後も誰もが安心して相談できる環境整備をすすめていきます。
75	月に1回くらい、学校の周りを地域の人と共に掃除をする機会があると良い。	学校や地域をきれいにしたいと思う気持ちで清掃活動に取り組むことを、学校だけでなく家庭や地域においても共通認識とすることが大切だと考えています。今後も学校内外での清掃活動の更なる充実をはかっていきます。
76	定期的にある地域のクリーン活動に参加することで地域の方々に貢献したい。	クリーン活動は、学校だけでなく家庭や地域においても共通認識のもと、活動していくことが大切です。今後も学校内外でのクリーン活動の更なる充実をはかっていきます。
77	地域を綺麗にするために、クリーン活動を行うことは良いと思う。	

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
78	放課後に地域の人と関わることは難しいので、授業の中で地域の人と関われる時間を作るべきだと思う。	地域の方と関わることは、とても大切だと考えています。学校の特色や状況に応じて、授業や放課後などの時間を使って地域の方と関われるよう、今後も充実をはかっていきます。
79	学校でもっと地域との活動を増やした方が良いと思う。	
80	地域の人との関わりが少ないため、学校でもっと地域との活動を増やした方が良いと思う。	
81	地域の人と一緒に、もっと関わることでできると良い。	
82	地域の人と交流できる機会を増やすことはとても良いことだと思った。	
83	保護者や地域の人と一緒に、何かレクリエーションをしたい。	保護者や地域の方とレクリエーション等で関わることは、とても良い考えだと思います。学校だけでなく、地域の活動を含め、いろいろな場面できると思いますので、参考にさせていただきます。
84	スポーツだけでなく、ものづくりをすることでも地域の交流を深めることができると思った。	ものづくりを通して地域と関わることは、とても良い考えだと思います。これからも、地域との交流を深める取組を考えていきます。
85	地域の様々な年齢や違う学校の人と学んだりスポーツをしたりする時間を作る。	地域の方や違う学校の人と関わることは、とても良い考えだと思います。学校だけでなく、地域の活動を含め、いろいろな場面できると思いますので、参考にさせていただきます。
86	地域のふれあいの場所があったほうが良いと思う。	地域のふれあいの場所があったほうが良いという考えは、とても良い考えだと思います。学校が地域の拠点として、引き続き地域との交流を深めていきます。
87	地域のことをもっと知れるように八王子の特色を授業に取り入れたら良いと思う。	市立学校では、総合的な学習の時間を中心に八王子の郷土についての学習に取り組んでいます。地域の良さがもっと学べるよう、引き続き充実をはかっていきます。
88	学ぶ力を学校内だけではなく地域の中で協力して伸ばしていこうとしていることが良いと思った。八王子がもっと良くなるためにはいろいろな工夫をして政策を出しているのはいいけど中途半端にしないで一つ一つ解決していくことが必要だと思う。	本市は、一つ一つの課題に対して最後まで責任をもって取り組んでいます。市立学校に通う子どもたち一人ひとりの学ぶ力が一層高まるよう、今後も地域と協力して取り組んでいます。
89	八王子がもっと良くなるために、地域の人とたくさん関われる取り組みがあると良いと思う。他の学校と一緒に学んだり、八王子にずっと住んでいる高齢者に昔の八王子を教えてもらったりしたい。	本市をもっと良くするために、すばらしい意見を出してくれてありがとうございます。現在、各学校において総合的な学習の時間等を使って地域について学習に取り組んでいます。今後一層地域の方々と協力して学習する機会がつかれるよう、検討していきます。
90	柚子狩りを体験して、自分の地域の事を知れてよかった。	柚子狩り等、体験活動は皆さんにとって、地域を知ることができるとても良い機会だと思います。これからも、子どもたちが地域の活動に参加できるようにしていきます。
91	小・中学校の施設を使って、祭りなどのイベントを行い、町の人たちの交流を増やしてほしい。	地域が盛り上がるために、祭りやイベントを行うことはとても大切なことです。学校が地域の拠点として今後もあり続けるために、学校と地域で相談していきます。
92	学校で楽しく過ごすためにイベントを多く開催してほしい。	学校に通う全ての子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるよう、学校行事を含め更なる充実をはかっていきます。
93	もう少し他校との交流を増やしてほしい。	他校と交流することは、様々な見方や考え方を広げることにつながり、とても大切なことです。今後、小中一貫グループ校や部活動における交流など、他校と交流できる機会がつかれるよう、検討していきます。
94	八王子市内の他の中学校の生徒と、インターネットを用いて交流する時間を設けてほしい。	ICTを活用して他校の生徒と交流することは、時間や空間を超えて交流でき、とても大切なことです。現在、はちおうじっ子サミットとして小・中学生が意見を交流する機会を設けています。今後も、ICTの活用を含め検討していきます。
95	読書の時間を増やし、もう少し想像力を増やしたほうが良いと思う。	想像力を増やすことは、とても大切なことです。各学校では、読書の時間を通して読解力や想像力、語彙力の向上につながるよう取り組んでいます。今後も、学校の状況に応じた読書活動の充実をはかっていきます。
96	朝の時間を活用して読書をするのは良い。	朝読書は、落ち着いた環境の中で本を読めるとても大切な時間です。引き続き、読書活動の充実をはかっていきます。
97	朝読書の重要性を指導した上で、読書への意識を向上させるとともに、朝読書の時間を増やす。	
98	読書の時間をなくしてほしい。	読書は、文章を読む力、想像する力、新たな言葉との出会いなど、子どもたちにとって学び多き時間です。全ての子どもたちが読書の時間が楽しいと思えるよう、各学校で取組を工夫していきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
99	心を育む教育に欠かせないのは読書です。読書習慣をつけるには、学校図書館の果たす役割が大きい。学校司書が常駐できれば能力も更に発揮でき、子どもたちの読書環境も確実に良くなると思います。情緒が安定し、知的好奇心に富み、学ぶことが大好きな「はちおうじっ子」の育成を期待します。	読書活動の推進や学校図書館の活用は、学校が一体となって取り組んでいます。学校司書もその一員として、子どもたちの読書支援・学習支援に取り組みます。
100	現在、学校に司書さんが週に1回来てお仕事をされていますが、回数が少なすぎると思っています。読書が脳にとって大きな役割を果たしているのですから、更に力を入れていただきたいです。できれば毎日図書室にいて子どもたちの相談にのってもらえたら嬉しいですね。学校司書を増やし、子どもたちの読書量を増やすことが基礎・基本の向上と学ぶ意欲の向上につながると思います。	
101	調べる学習コンクールの実施は大変重要なことだと思います。しかし、そのためには学校司書が週一日しか配達されないのは片手落ちだと思います。毎日司書がいて子どもたちへの声掛けをすることが大切だと思います。今教員が大変忙しくて労働強化になっています。担任の仕事を少しでも減らすためにも司書の毎日の配置が欲しいです。	
102	図書館を設けることで放課後に安全、安心に学び合えた。また、芸術文化にも触れ合え想像力が深められるようにしていることがすごいなと思った。	子どもたちにとって、学校図書館は落ち着いて学べる場である必要があります。安心して本に親しんだり勉強したりできるよう、今後も環境づくりをすすめていきます。
103	学校の図書館に今はやりの小説やテレビモニターを導入してほしい。	
104	課外活動や実習、ボランティアを授業で増やしてほしい。	体験活動やボランティア活動は、今まで気が付かなかったことに気づき、広い視野をもって物事を見る力を育むうえで大切な活動です。今後もより一層の体験活動やボランティアの充実をはかっていきます。
105	高尾山に登り、寺でお話を聞けて歴史について学べて良かった。	高尾山は、日本遺産に認定されており、本市にとってとても大切な場所です。本市には高尾山をはじめ、歴史を学べる場所がたくさんありますので、体験活動の一層の充実をはかっていきます。
106	桑都日本遺産センターに行く機会が少ないので、歴史や文化財に触れる機会を学校でもっと増やした方がよい。	歴史や文化財にふれる機会がほしいという思いを伝えてくれました。歴史や文化財にふれる機会を増やすことで、伝統文化の理解を深めることができます。桑都日本遺産センターをはじめ、各学校において歴史に関する体験学習の一層の充実をはかっていきます。
107	中学校でも八王子市の歴史や文化を学んだり、体験できたりする機会があると良い。将来の職業選択にもつながる。	歴史施設等で実際に見たり聞いたりする機会は、教科書で学ぶこと以上に学び多き時間になります。今後も社会科や総合的な学習の時間等を通して、本市の歴史や文化にふれる機会や体験できる機会を充実できるようにしていきます。
108	歴史文化にふれる機会が少ないから、社会科見学などで八王子の歴史施設に行ける機会がもっと増えると良いと思う。	
109	歴史文化の保存活用のためにも八王子の歴史に関する教育を今よりも活発に行うべきだと考えます。	
110	文化などを見学しに行くのが良いと思う。	歴史や文化にふれることは、伝統文化の理解を深めることにつながります。今後も、社会科や総合的な学習の時間等を通して、より一層の充実をはかります。
111	健康な体にするためにはバランスの良い食事が大事。	バランスの良い食事をしっかり食べることは健康な体を作るうえでとても大切です。本市では成長期の子供たちに必要な栄養素が摂取ができ、食育にもつながる給食を提供するために、様々な工夫をしています。引き続き、バランスの良い食事の見本となるように取り組んでいきます。
112	給食のメニューの種類を増やしてほしい。	栄養価や彩り、旬の食材など様々なことを考慮しながら、皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように、これからも献立を工夫していきます。
113	給食に世界各国の料理を出して、生徒にも国際的な考えを持たせてほしい。	オリンピック・パラリンピック開催時に開催国のメニューを提供するなど、世界の食文化に親しんでもらえるように献立を工夫しています。今後も皆さんがおいしく給食を食べて、世界の歴史文化を学べるような給食を提供していきます。
114	みんなが野菜をもっと食べれるようなメニューにしてほしい。	野菜の切り方や火の入れ方、食材の選定、味付けなど、様々なことを考えながら、皆さんに野菜をおいしく食べてもらえるように調理しています。今後も引き続き工夫していきます。
115	給食を豪華にしてほしい。	給食は一食あたりの予算が決まっているので、その金額の範囲内で、最大限の工夫をして、皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように献立を検討しています。これからも栄養バランスがよく、おいしい給食提供のために工夫していきます。
116	給食にハムカツを入れてほしい。	各給食センターや学校で、リクエスト献立を実施または実施の検討を行っています。リクエスト献立のアンケートがあった際は、是非参加してみてください。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように、工夫していきます。
117	生徒に食べたい給食についてアンケートを取り、希望が多かったメニューの一つでも献立に入れてほしい。	
118	給食について、汁物以外にも魚などのおかずも温かいまま届けてほしい。	給食は学校給食法という法律に基づき、衛生管理をしています。ルールを守りながら、おいしく適温で食べてもらえるように、調理方法等を工夫しています。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように工夫していきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
119	バランスの良い給食を出してもらった。	栄養バランスの良い給食をしっかり食べて、心も体も元気に過ごしてほしいと考えています。これからもみなさんに喜んでもらえる給食が提供できるように工夫していきます。
120	給食はバランスが良くとても食べやすい。	
121	給食はおいしく旬の物も楽しめるのでこれからも続けてほしい。	
122	給食が美味しい。	
123	給食がおいしい。	
124	小・中学校の給食がおいしい。	給食では旬の食材を使用し、その季節ならではの食材を知ってほしいと考えています。これからも給食時間がおいしく食べながら学べる時間になるように工夫していきます。
125	給食で牛乳以外の飲み物をやスイーツを増やしてほしい。	
126	給食でケーキやパフェなどのスイーツを出してほしい。	
127	給食でスイーツを出してほしい。	
128	給食で牛乳以外の飲み物も出してほしい。	
129	給食で牛乳だけでなく、オレンジジュースなども飲みたい。	成長期の中学生のみなさんに必要なカルシウム量はとても多いため、栄養価を考慮すると牛乳の登場回数が多くなっている状況です。バランスを見ながら、牛乳以外の飲み物の提供も検討していきます。
130	給食でジュースを出してほしい。	
131	給食でジュースを出してほしい。	
132	給食の飲み物の種類を増やしてほしい。	
133	給食で出る牛乳を瓶に戻してほしい。	
134	給食はいつもごはんが温かくて、すごくおいしい。	瓶入り牛乳は供給コストの高騰などを理由に、全国的に生産量が減っています。本市の給食の牛乳が瓶から紙パックに変更になる際、瓶牛乳が継続できるように様々なメーカーに問い合わせ、検討しましたが、本市の学校全てに配送する手段が確保できないなど多くの課題があり、継続を断念したという経緯があります。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように努めていきます。
135	給食で毎日あたたかご飯を食べるのは良い。	
136	中学校が給食になってよかった。	
137	中学校が給食になってよかった。	
138	給食があることは良いことだと思う。	
139	親の負担が減り、給食が無償化になってよかった。	給食費が無償化になり、子育て世帯における負担を軽減をすることができ、多くの方に喜んでいただき、うれしく思っています。これからも皆さんに喜んでもらえる給食が提供できるように努めていきます。
140	給食が無料なのが良い。	
141	給食が無償化になって良かった。	
142	給食の余りが多いと思う。	給食では食材の切り方や調理方法、食材の選定、味付けなど、様々なことを考慮しながら、皆さんに美味しく食べてもらえるように調理しています。給食の残菜が少なくなるように、献立・調理の工夫や、食を大切にすること意識を高める食育の実施など、引き続き取り組んでいます。
143	体力向上の取組は、体力がなかったり運動能力が欠ける子どもを少なくすると思うので賛成します。	
144	体を動かすのは、本当に大事だと思うので、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
145	体力の向上には運動習慣が大事だと思う。	
146	先生達が一緒に運動してくれるのがよかった。	教員が、子どもたちと過ごす時間はとても大切です。今後も、積極的に子どもたちと関わり、その中で子どもたちが運動を楽しみながら、自らの体力を高めたり、睡眠や食事などの健康的な生活習慣を身に付けられたりする指導をすすめていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
147	全校生徒が集まって、少しでも運動できると良い。	各学校では、全校で取り組む体育祭だけでなく、学年生徒全員で行う球技大会やレクリエーション大会等を実施するなど、学校の実態に合わせた取組が行われています。しかし、学校規模等の問題から、全校生徒が集まる活動が難しい学校もあります。学校の状況に応じた取組を今後もすすめていきます。
148	体力の向上は良いと思うが、休み時間を使って強制的に運動させるのは良くない。	適度に体を動かすことは健康な体をつくるうえで大切なことです。学校は、子どもたちの体調を見ながら声をかけています。今後も、子どもたちが運動を楽しんで取り組めるように、工夫していきます。
149	運動が苦手な人や、はずかしがりやな人にも配慮が必要だと思う。	適度に体を動かすことは健康な体をつくるうえで大切なことです。学校は、子どもたちの体調やようすを見ながら声をかけています。今後も、子どもたちが運動を楽しんで取り組めるように、工夫していきます。
150	体育祭の会場に日陰を増やしてほしい。	各学校には、体育祭や運動会等における熱中症事故防止に向けた指導や環境整備を行うよう、伝えています。今後も、熱中症等の事故防止に努め、安全・安心な体育活動が行われるよう取り組んでいきます。
151	授業で行うプールを男女別にしたほうが良い。	現行の学習指導要領では、体育科の授業を男女共習で行うことが決められているので、男女別で実施するのは難しいですが、各学校において生徒一人ひとりが安心して学習に取り組める環境をつくっていく必要があります。生徒一人ひとりが、安心して授業に臨めるよう、工夫していきます。
152	性加害・被害の問題が各所で噴出している今、性教育の必要性を強く感じている。「7体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」に、数行、言及されているのみで、しかも薬物乱用とセットになっている。重要性が低く見積もられすぎていと思う。性的少数者への理解増進という面からも、本来ならば、今後5年間に取り組む施策の一項目として立てるべきと考える。 また、性教育は「3自分を大切にし、他者を思いやる心の育成」にも関わる。人間の身体について知ことは、自分のかけがえのなさについて学ぶこと、そして他者を自分と同じ大切な存在として捉えることにつながる。そこを抜きにして道徳や公共心や思いやりを植え付けようとしても、魂ばかりを言いつつ、仏を作らないみたいなのではないか。	本市では、子どもたちが性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」について、各学校の安全指導全体計画及び年間指導計画に位置付けて実施するなど、重要な教育活動であると認識しています。また、性教育についても、性教育の年間指導計画を各学校が作成し、計画的に実施しています。 今後も、子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、多様性を認め合うとともに、性犯罪への正しい向き合い方を学ぶ教育活動をすすめていきます。
153	施策7の「体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」は、「体力向上と健康教育の充実に向けた取組の推進」と「性教育の充実に向けた取組」の2施策に分けることについて、ご検討願います。	
154	部活動の所属に関わらず、八王子市の中学校に在籍していることで参加できるスポーツの大会などは、中学校として積極的に活用・参加することを望みます。特に学校近隣で行うものについては、積極的に中学校として活用すべきである。	大会等への参加は、各学校が部員の希望や指導者・引率者の有無等を勘案して決定しております。市教育委員会としては、今後も、子どもたちが日頃の練習の成果を発揮する場として重要であることを、各学校に伝えていきます。
155	豊かな心と健康な体を育むために、道徳の授業の充実や、仲間と協力して運動ができる場所がもっと増えたら良いと思った。	学校は、子どもたち一人ひとりの豊かな心と健やかな体を育成するために、特色ある活動を計画的に実施しています。子どもたちが学校生活を送る中で、感じるものがあれば、いつでも学校の教職員が相談に乗ることができます。今後も、学校の実態に応じて地域の方と連携し、子どもたちにとってより良い教育活動になるように、工夫していきます。
156	豊かな心には様々な視点に立ち、一つ一つの物事に対して真剣に考える力が必要。様々な視点の意見を聴くことはその力のもととなる。	
157	休みがほしい。身体的な疲れはすぐ取れるが、精神的なものは簡単には取れないので、心の休みを優先して解消してほしい。	
158	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
159	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
160	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
161	豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する取組に賛成する。	
施策展開の方向 3 児童・生徒に応じた支援の充実		
162	施策8の「主な取組」にある「教員のニーズに応じた特別支援教育研修の開催」という表現は、「児童・生徒の状況に基づく教員、学校運営協議会の顕在化したニーズ、および特別支援教育に関する専門家が指摘する潜在的なニーズに応じた特別支援教育研修の開催」という表現とすることをご検討願います。	特別支援教育において、顕在化されたニーズと共に、潜在的なニーズに着目したアプローチは重要な視点であると認識しています。今後も、各種専門家や地域の方々からの御意見を参考にしながら、教員研修の運営をはかり、特別支援教育の充実に向けてまいります。
163	学校に通えない子どもを支援するのはとても良いと思う。	在学中での支援はもちろんですが、学校に通えないまま義務教育を修了した生徒については、卒業後も継続して必要な支援を受けられるような体制づくりをすすめていきます。
164	一人ひとりのことをよく見て一人ずつ適切に接する教育は良いと思います。少子高齢化で子どもの人口が減ってしまっている中、学校へ通えない子の気持ちに向き合おうとしているところも良いと思った。	温かい意見をありがとうございます。引き続き子どもたち一人ひとりに寄り添った支援をしていきます。
165	八王子市は不登校の子にも親切に支援してくれていると思います。	温かい意見をありがとうございます。引き続き子どもたち一人ひとりに合った支援をしていきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
166	学校に通えない子どもたちのために無料授業を受けられるシステムを作った方がよい。	学校に通えない子どもたちのために、バーチャル・ラーニング・プラットフォームを活用した学びの場があります。ここでは、バーチャル空間での学習活動や夜間学級での学び直しなど、学校外の学びのネットワークを活用し、様々な支援が必要な不登校児童・生徒の学びの場となっています。
167	教室、相談室ではなく、学校に通えない子どもでも勉強ができる場所が欲しい。	市教育委員会では市内3か所に「適応指導教室」を設置しています。ここでは、学校に通えないけど学びたい子どもたちが勉強をしています。引き続き、こうした場所について、利用方法を含めて伝えていきます。
168	病気で学校に行けない子や不登校の子も学ぶことができるような支援があるとすごく親も安心だと思った。みんな同じような支援だと合わない子もいるので一人ひとりにあった支援があるのが良いと思った。	温かい意見をありがとうございます。引き続き子どもたち一人ひとりに合った支援をしていきます。
169	「9不登校児童・生徒への支援の充実」の主な取組に「人間関係など様々な事情で授業を受けることが困難な生徒が普通の教室以外の場所で授業を受ける制度」があったら良いと思う。	現在、教室で授業を受けることができない生徒のために、別室指導の充実やフリースクール等民間施設との連携強化に取り組んでいます。今後も、不登校の児童・生徒が安心して過ごせる居場所づくりと学習機会の確保をすすめていきます。
170	生徒の不登校に対する意識を改善し、「無関心」「自分には関係ない」と思わせない指導が必要。	不登校に対する意識を含め、何事も自分事として捉え、考え行動することは、誰もが安心して生活を送るうえでとても大切なことです。自分も相手も大切にできる温かい心を育成できるよう、引き続き子どもたち一人ひとりに合った支援をしていきます。
171	年々増加している不登校生徒を減らすために、家に訪問してカウンセリングや授業を行うなどの取組をしても良いと思う。	本市としても、バーチャル・ラーニング・プラットフォームを活用した、バーチャル空間での相談・支援など、不登校対策に力を入れています。不登校傾向がある子を含め、学校では、安心できる居場所づくりを含め、一人ひとりが将来に向けて前にすすめるように、今後も考えて取り組んでいきます。
172	施策9の「現状と課題」の観点として、素案に記載のある5点に加えて、次の文言を加えてください。 ○現在の「不登校児童・生徒への支援」は、学校に戻れるようにする支援のほか、「校内別室」、「適応指導教室」など、児童・生徒に多様な学びの場を選択肢として提供している実情もあります。これらに加え、今後は「フリースクールとの連携による別形態での登校」、「オンライン通学による別形態での登校」など、社会の動向も踏まえたさらなる多様な学びの場を選択肢として提供していくことについての検討も必要な状況です。	本市の貴重な財産である学びの多様化学校「高尾山学園」では「対面での指導」による効果を重視しています。ご意見をいただいた「オンライン学習」や「オンライン登校」などの「多様な学び」の対応につきましては、先取りするのではなく、その施策の有用性について、今後の他自治体の動向を見ながら、その整備について検討していきます。
173	施策9の「課題と対応」を踏まえ、「施策の方向」と「主な取組」のリストに以下のことを加えてください。 施策の方向：○多様な学びの場を整備し、提供します。 主な取組：○校内別室、適応指導教室の継続的な設置促進 ○フリースクールとの連携による別形態登校の整備 ○オンライン登校の形態整備	
174	お金などが理由で学べないような教育ではなく平等に全員が学べるようにすること。	経済的な理由により、就学が困難と認められる児童・生徒に対し、就学援助費として学用品費、修学旅行費、オンライン通信費などの援助を行っています。今後も教育の機会均等が確保できるよう取り組んでいきます。
175	朝起きれない子のために遅い時間にも授業をしてほしい。	学校は、一人ひとりに寄り添った指導を心がけていますが、集団で生活する場である以上、どうしても時間などのルールを決めなくてはなりません。学校生活の中でみんなと同じようにできないと感じてしまう人もいるかもしれません。だからこそ学校は、一人ひとりのようすを多くの先生方で見守りながら声をかけています。
176	人はみんなそれぞれ違うため、その人に合う教育の進め方が大切だと思う。	
177	一人一人の個性を尊重し、たくさんの場面において交流したり多様性を見つけ合ったりする人を育み、それに合わせた個人一人ひとりへの相応の支援を行ったり、交流する場を作ったりする必要があると思う。	
178	児童・生徒に応じた支援を充実する取組は、より良い学校にするためには良いと思う。	学校では、子どもたち一人ひとりの声を大切にし、寄り添った支援ができるよう心掛けています。今後も、一人ひとりが将来に向かって挑戦できるよう、寄り添っていきます。
179	児童・生徒に応じた支援をすることがSDGsにつながると思うので取組に賛成する。	
180	支援が必要な児童・生徒への取組は必要だと思う。	
181	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
182	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
183	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
184	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
185	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	
186	児童・生徒に応じた支援を充実する取組に賛成する。	

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
施策展開の方向 4 未来を切り拓く力を育む教育の推進		
187	将来の夢のためにキャリアパスポートがあると便利になると思う。	「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」は、子どもたちの成長の記録として残し、自分で読み返しながら活動を振り返ったり、自分の生き方について考えられるよう、全校で活用しています。皆さん一人ひとりが自分らしい生き方を実現していくキャリア教育をこれからも充実させていきます。
188	キャリア・パスポートに書く内容を、現状のものに加え、楽しんで書ける項目の追加をすることにより、キャリア・パスポートに記入することに対する意識を改善する。	より良くしていこうという気持ちが伝わるメッセージをありがとうございます。「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」は、本市で印刷した冊子のものだけでなく、各学校でアレンジできるようにデータを共有し、各学校で創意工夫できるようにしています。
189	将来のことを考えていくことが大切だと思う。	市立学校では、総合的な学習の時間や特別活動の授業の時間を中心に、子どもたち一人ひとりが将来について考える授業に取り組んでいます。また、自分にしかない「自分のみち」を歩けるよう、「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」を活用しながら、一人ひとりの取組を担任の先生や保護者の方も含め、振り返られるようにしています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるようにしていきます。
190	自分の将来のことについて考える授業をしてほしい。	
191	将来について考える時間を増やした方がよい。	
192	自分の将来や夢について考える時間がもっとあったらいいと思う。	
193	将来の選択肢を増やすことが大事だと思う。	
194	悔いのないような将来(未来)を送れるようにしたい。	
195	将来に向けての取り組みは、地域の発達につながるため良いと思った。	
196	現在のことだけではなく将来を見据えて教育について考えているのがいいと思った。	各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験などに積極的に取り組んでいます。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、キャリア教育に力を入れていきます。
197	自分に何が向いていて何をやりたいのか知るきっかけがもっとほしい。	
198	公務員になりたいと思う人が多い学校。	各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会を計画的に行っています。その中で、子どもたちの思いや願いを聞きながら、より良い活動になるように工夫をしています。今後も、子どもたちの思いや願いを大切に活動を進めていきます。
199	自分の興味のある仕事や興味のあることについてより深く調べることでより良くなると考えた。	
200	子どもの意見をもう少し取り入れてほしい。	市立学校では、総合的な学習の時間や特別活動の授業の時間を中心に、子どもたち一人ひとりが将来について考える授業に取り組んでいます。地域の方やさまざまな職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会をつくっています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、寄り添っていきます。
201	将来つきたい仕事などやりたいことに八王子で学んだことを活かしたら自分の未来を自分の力で決めることができ良いと思う。	
202	進路を決める際に、先生が生徒一人ひとりに丁寧に寄り添ってくれることが良いと思う。	各学校は「はちおうじっ子『キャリア・パスポート』」を通して皆さんの成長や思いを共有しながら指導に活かしています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、寄り添っていきます。
203	中学校では、最低限必要な勉強は単位制にし、それ以外の科目は自由選択にすれば、やりたい事や将来の夢が広がると思う。例えば、体育の先生になりたいのに美術、音楽などは必要がないと考える。	やりたいことができる時間をつくることは、とても大切なことだと思います。しかし、それ以上に市立学校では、全ての子どもたちが、自分の道を自分らしく歩んでいけるよう、様々な学習を計画しています。学習によって、一人ひとり感じ方に個人差はあるかと思いますが、何一つ無駄な授業はありません。学校は、これまでも、そしてこれからも子どもたち一人ひとりの将来に責任をもって寄り添っていきます。
204	素案の中に「主権者」の文字がどこにも見当たらない。選挙があるたびに投票率の低さを嘆く論調が見られるが、それは教育の白旗宣言であり、主権者教育の欠如ゆえの当然の帰結と私には思える。主権者教育は、「4未来を切り拓く力を育む教育の推進」の「13主体的に社会に参画する力を育成する教育の推進」にあってもいいはずだが、キャリアや職業面への言及に終始しており、主権者としての義務などを学ぶ機会がないように見て取れた。やはり主権者教育も、今後5年間に取り組む施策の一項目として立ててほしいと感じた。政治参加を通じた社会変革の大切さを、小さいときに学んでほしいと思う。具体的には、憲法を読み込む時間、学校用の法律を作ってみる試み、他にも模擬投票・模擬裁判などの機会を設ける、などが考えられる。そうした素地により政治的リテラシーが育まれれば、軽はずみにSNSやショート動画に踊らされたりはしなくなる。社会の一員としての権利や義務を知らされぬまま、当事者意識もなく18歳になり、「はい、あなたは大人です。投票してください」というのは、この社会を創ってきた大人側の責任放棄とも言えると思う。	本市においても現行の学習指導要領の下、社会科、家庭科、特別の教科 道徳、特別活動や総合的な学習の時間において主権者教育に関わる内容を実施し、児童・生徒の主権者としての意識を涵養する取組を充実させています。本施策において、そのような内容が明確になるように文章を修正します。
205	八王子市には研究開発・R&Dを行う起業施設が複数存在する。これらの企業に働きかけ、会社見学(社会科見学)や職場体験、企業活動のPRを行ってもらい将来を担う子供達への意識づけを行ってほしい。	各学校は実態に即して、地域の方や専門家などと連携した職業講話や職場体験活動等を行っています。今後も、将来を担う子どもたちに、望ましい職業観を育んでいけるよう、教育活動を充実させていきます。
206	施策13の「現状と課題」の冒頭に「自らが「持続可能な社会の創り手」となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められています。」という表記があります。この表記は、「自らが主権者意識を携えた「持続可能な社会の創り手」となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められています。」という表記にすることを求めます。	ご意見ありがとうございます。「現状と課題」では、学習指導要領に則り、広く解釈できる文言で示しています。主権者としての意識の醸成についても、今後も取り組んでまいります。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
207	施策13の「主な取組」にある、「道徳科や総合的な学習の時間における、子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、大切にできる教育の実施」と表記がされています。この表記は、「道徳科や総合的な学習の時間における、子どもたちが社会の一員としての認識を持つことの大切さ、および自分の良さや可能性に気づき、大切にできる教育の実施」という表記に改めてほしいと考えます。また、「施策の方向」として記載のある「○社会の一員として役割を果たし、」という目的を達成するための手段が「主な取組」に記載されておらず、不整合の状態であるのを解消する必要があると考えます。	施策の方向性の主旨との整合性をはかり、主権者としての意識の涵養につながる取組の充実となるよう修正します。
208	小中学生にとって、身近な社会とは近隣地域である。各学校教員が地域で行われる行事、催しを大切に、そこに子どもたちの意識を向けさせ、参加・活動することが、一番子どもたちが実感しやすい社会活動であり、それが主体的に社会に参加する力を育成するものだと思われる。	各学校では、毎年教育計画を立てて、義務教育9年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育を推進しています。今後も、各学校において実態に即し、創意工夫しながら、児童・生徒、家庭、地域の方の思いや願いを活かした教育活動を各学校で展開していきます。
209	未来を切り拓く力を身に付けるのは将来自分の夢を叶えることに繋がるので大切だと思う。	市立学校では、総合的な学習の時間や特別活動の授業の時間を中心に、子どもたち一人ひとりが将来について考える授業に取り組んでいます。地域の方やさまざまな職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような機会をつくっています。今後も、一人ひとりが自分と向き合い、自分にしかない道をしっかり歩んでいけるよう、寄り添っていきます。
210	チャレンジ精神を持って社会貢献性を高めて今後の未来にも役立てたい。	
211	将来自分から挑戦したいことを挑戦できる力を育ててくれる教育の推進が良いと思った。	
212	未来を切り拓く力を育む教育を推進させる考えはいいと思った。しかし、そのようなことをするにはそれ相応の環境が必須だと思った。子どもが学習しやすい環境を作ろうとするなら、ただ単純に塾のような学習できる場所を作るのではなく、学びたい教科によって様々な環境を作るべきだと思った。また、学習面や技術面への力だけを育ませるのではなく、スポーツ面も積極的に行うのも大切だと思った。	各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、職業講話や職場体験など、生徒一人ひとりが自分と向き合い、将来について考えるきっかけになるような取組を計画的に行っています。その中で、子どもたちの思いや願いを聞きながら、より良い活動になるように工夫をしています。今後も、子どもたちの思いや願いを大切に活動を進めていきます。
213	海外への修学旅行など海外との交流を増やしたり、校外学習を使って様々な職業について知るような活動を増やす。	
214	職場体験やTGGなどの実際に体験できる行事がもっとやりたい。	
215	大人になっていく上でやりたいことにチャレンジする力は、各教科の知識も必要だが一番重要になっていくと感じた。互いに協力しあい、学び合うことは絶対に必要になっていくから。	
216	今を良くするのなら色々な意見を取り入れることが大切。それは今の学生が未来を切り開くことだ。	
217	もっと活動範囲を広げ人との交流を増やしコミュニケーション能力をつけれるような教育をしていった方が良く思う。	子どもたち一人ひとりが、自分の良さや可能性を知り、自分と関わる人々と協力しながら前に進んでいけるよう、各学校では、地域の方や様々な職業の専門家などに協力してもらい、それらの関わりの中で学べるように工夫をしています。また、各教科の授業においても、自分の考えを発表したり、友だちの考えにふれながらより良い解決を目指す学習を大切にしています。今後も、学校だから学べる学びの充実をはかっていきます。
218	関わる人が多いほど、色々な考え方や知識をもらうことができる。	
219	個人、個人で何をしたいのか意見を言い合えるような授業をしてほしい。	
220	誰かと意見をわかち合ったりすることを班行動というグループ活動として用いることがすごい良いと思った。社会では集団行動などのコミュニケーション能力がある程度必要なので他人とのコミュニケーションやそういう社会の場に慣れていく経験を、イベントや行事などを通して増やしていくことがいいと思った。	各学校では、様々な教育活動を通して、児童・生徒の皆さんが社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営むうえで必要なマナーやルールを身に付けていけるよう指導をしています。今後も、継続して指導していきます。
221	人の家の庭に勝手に入ったり、夜に道路で遊んでいる小学生がいるからので常識を教えてほしい。	
222	パソコンを使用する授業が少ない。	
223	英語を使った授業をしてほしい。	A L T と連携した外国語活動・外国語科の指導法に関する研修や、オールイングリッシュによる外国語教育研修を行い、教師が英語で授業ができるよう、外国語教育の充実をはかっていきます。
224	英語の授業について、もっとA L T による授業を増やしたほうが良い。	A L T による授業も大切ですが、A L T と連携した授業だけでなく、子どもたちが近隣大学の留学生と英語でやりとりができる授業を実施したり、一人ひとりの学力や学習ペースに合わせて学べるスピーキング学習教材を活用したりできるようにしていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
225	今の英語教育は、将来、英語が使えるようになる教え方ではないと思う。週1回英会話の授業を行うなど、英語が話せるようになる授業をしてほしい。	良い授業、良い学びの機会をつくるためには、教員の指導力の向上が必要不可欠です。教員の指導力向上に向け、A L Tと連携した外国語活動・外国語科の指導法に関する研修や、オールイングリッシュによる外国語教育研修など、教師が英語を主体とした指導を行えるよう外国語教育の充実をはかっていきます。また、子どもたちがA L Tや留学生と英語でやりとりができる授業を行ったり、一人ひとりの学力や学習ペースに合わせて学べるスピーキング学習教材を活用したりしていきます。
226	英語を書くだけでなく、A L Tなどを利用して子どもたちに英語を話す楽しさを知ってほしい。	
227	将来、海外との交流が多くなると思うので、A L Tを増やすなど英語教育に力を入れてほしい。	
228	英語の授業で外国人と話す機会を増やしてほしい。	
229	英語の授業では、積極的にコミュニケーションを取り、スピーキング力を向上させたい。	
230	tokyo global gatewayのような施設にもっと行き、実際に体験したい。	
231	色んな国のことや、人々のことを学び多くのことを知ることがとても大切だと思います。自分を理解しやりたいことを見つけれられる環境が必要。	
232	専門的なことなどで自分の好きなこと、得意なことをどんどん伸ばしていけるようにする。留学をもっと市が推進させる。自分でやりたいことについて学びをできるようにする。	
233	自分が学びたいことをできるようにするためやグローバル化により他の外国の人とコミュニケーションを取れるように英語のより実用的な使い方の学習や他の言語も学べるような環境を作ることが大事だと思った。こうすることで自分がやりたいことができる選択の幅が広がると思う。選択肢を広げられることが大事だと思う。	
234	世界中の人たちとどうやって協力していくのか知りたい。	
235	国際交流を通して、得られる広い視野や異文化への理解力の向上により、グローバル社会で役に立つ人材を作り上げるとともに、世界で活躍できる人材を作れると考える。	
236	学校内だけではなく、地域全体で教育をしようとしている。世界中の人と協力するのが面白いと思った。	自分も相手も大切にできる気持ちや、協力して問題解決に取り組む姿勢は、未来を担う子どもたちにとって、身に付けてほしい力の一つです。今後も、子どもたち一人ひとりがグローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材へと成長できるよう、学校を支援していきます。
237	世界中の人たちと協力するために、班活動で人と協力していくことを増やし、問題解決に取り組むことを増やす。	
238	世界で活躍できるような力を持たら、今よりもっと世界中の人たちと良い関係が築けると思うので、未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	未来を切り拓く力を育む教育を推進し、一人ひとりが望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、今後も子どもたちのための取組をすすめていきます。
239	大谷翔平選手のように世界で活躍する若い力が必要なので、未来を切り拓く力が重要だと思うので、未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
240	夢が決まった時に、チャレンジできるような力や世界で活躍できるような力があたらうれしい。	
241	将来、つきたい仕事や、やりたいことにチャレンジできるようになりたい。	
242	学校でもっと色々なことにチャレンジしたい。	
243	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	未来を切り拓く力を育む教育を推進し、一人ひとりが望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、今後も子どもたちのための施策をすすめていきます。
244	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
245	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
246	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
247	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
248	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
249	未来を切り拓く力を育む教育を推進する取組に賛成する。	
めざす教育の姿2 学校・家庭・地域の連携・協働による教育力の向上（81件）		
施策展開の方向 5 地域とともにある学校づくり		
250	学校に軽音部を作ってほしい。	興味があることや、将来に役立つことに取り組める機会があることは大切だと考えています。これからも、子どもたちがどんなことに取り組みたいのかを聞き取り、学校や地域での活動機会の確保に取り組んでいきます。
251	就きたい仕事に関係するような部活を作れるようにしてほしい。	
252	様々な人とスポーツで交流するため、他校と練習試合を増やしてほしい。	部活動の運営方法や活動内容は、各学校の部活動の方針に基づいて、実際に活動する子どもたちの思いや願いも踏まえながら、顧問をはじめ、各学校で決めています。様々な人とスポーツを通して交流することは大切なことですので、部活動以外でも、そうした機会に子どもたちが参加しやすいよう、活動環境を整えていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
253	部活動をより活発にしてほしい。	学校部活動をより充実した活動内容にするために、特色ある部活動や広域的な部活動には、専門的な指導ができるスタッフを配置する取組をすすめています。また、学校だけでなく地域全体で様々な体験活動の機会を得られるよう、「部活動改革」をすすめているところです。これからも、子どもたちが充実した放課後や休日が過ごせるよう取り組んでいきます。
254	部活の時間を長くしてほしい。	部活動の活動時間については、成長期にある子どもたちが、学校での学習や学校外での活動、その他の食事、休養、睡眠など、バランスのとれた生活を送ることができるよう、平日は2時間以内、休日は3時間以内で設定しています。これは、全国で共通した取組の方向性でもあります。限られた時間の中でも、効果的で効果的な活動を目指して取り組んでいきます。
255	自分達の代で廃部となった部活があって悪いと思った。	少子化に伴って学校によっては生徒数が減少しています。また、教員の働き方改革をすすめていく必要もあります。このため、これまで通りに部活動を継続することが難しくなっていますので、部活動改革をすすめているところです。自分の通う学校だけでなく、他校や地域でもやりたいことができる環境づくりに取り組んでいますので、理解していただきたいと思います。
256	生徒の数が毎年減っているので、部活動の種類が減っている。	自分の学校に希望する部活動がない場合には、他校の部活動に参加することができる拠点校部活動の制度があります。また、子どもたちが参加できる地域活動の情報も公開していますので、その中から取り組みたい活動を選択することもできます。これからも、八王子市全体で子どもたちがやりたいことができる環境づくりに取り組んでいきます。
257	生徒の数が減って、部活の数が少なくなり困っている。	
258	先日、学校部活動の再編として、各中学校の部活動の改革内容が公表されたが、学校により特に改革されていない（部活数が減っていない）学校もいくつかあった。子どもたちにとって、部活動が減ること自体は好ましいとは思わないが、部活動の数が多い学校ほど、生徒が集まりやすいという実態も考慮して対応いただきたい。また、削減された部活動に在籍している生徒へのフォローも市として適切に行ってほしい。	各学校は、令和8年度末の完了をめざし段階的に部活動改革をすすめています。現在は、その改革の過渡期にあたるため、学校ごとに部活動の再編状況は異なります。各学校の部活動改革の状況は、市ホームページ内に掲載している各学校の部活動ロードマップを御覧ください。今後も、学校を含めた地域が丸丸となって子どもたちの活動機会の確保と拡充に取り組んでいきます。
259	勉強部は面白くて学校に行く大きなモチベーションの要因を担っていたので勉強部は廃部にしないでほしい。地域とつながりのある教育もいいと思うが生徒同士で教え合ったり語り合うことのできる場もある程度存続させる包容力の高さを出すべきだと思う。	生徒同士で教え合ったり語り合うことができる場があることは、とても大切なことだと思います。勉強部でなくとも、そうした機会が選択肢としてどこかにあることが肝心で、そうした選択ができるよう部活動改革をすすめているところです。ご意見を参考に、子どもたちの学校生活を送るうえでのモチベーションを大切にできるよう、これからも取り組んでいきます。
260	部活動と地域の活動を合体させる。	本市がすすめる部活動改革では、学校と地域が丸丸となって子どもたちの活動機会の確保と拡充に取り組んでいます。その一例として、学校施設を地域クラブに貸し出す取組も行われています。色々な連携の仕方があると思っていますので、これからも、部活動と地域のより良い関係やあり方について、子どもたちや地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。
261	施策16の「施策の方向」にある「地域運営学校と地域学校協働活動の一体的推進をはかるための支援を行います。」という「施策の方向」に対して、「主な取組」の欄に「〇地域資源の活用促進に向けた管理職、教員、および学校運営協議会への啓発」を追加してください。	ご意見のとおり、学校や学校運営協議会の活動の地域差をできるだけなくすることは重要だと考えています。なお、「地域資源の活用促進に向けた管理職、教員、及び学校運営協議会への啓発」についても行ってまいりますが、内容としては、同欄にある取組「学校運営協議会委員・教職員等学校関係者への情報提供や研修の実施」に含まれているため、参考とさせていただきます。
262	学校の運営について、お年寄りの方に手伝ってもらえば息抜きにもなるので良いと思う。	現在も、お年寄りを含め様々な地域の方が、ボランティア活動等で学校を支えてくださっています。ご意見にあるように、学校での活動を、ご自身の息抜きや生きがいを感じてくださる方がまだまだ地域にはいると思いますので、引き続き制度の周知活動をすすめていきます。
263	施策17の「施策の方向」にある「「チーム学校」の機能を十分に発揮できるよう、外部機関や専門家と連携をはかりながら、学校への支援を充実させていきます。」という「施策の方向」を示す表記は、「「チーム学校」の機能を十分に発揮できるよう、学校運営協議会に加え外部機関や専門家と連携をはかりながら、学校への支援を充実させていきます。」という表記に修正いただくようお願いいたします。	本市の学校において、学校運営協議会は非常に大きな役割を担っており、どの学校も、学校運営協議会との連携をはかりながら、「チーム学校」としての機能を発揮しているところです。記載の内容につきましては、総合的に判断して表記しています。
264	学校が抱える問題解決に向けたスクールカウンセラーとの連携強化は重要な事です。しかし現在のようにスクールカウンセラーが週一回しか学校に来ないのでは、子どもたちの悩みの相談をしたり保護者、担任と面談したりするには時間が不足です。そして、今以上に不登校の子どもが増えてくると思います。都のスクールカウンセラーの日数が増やせないなら他区で行われているように市のスクールカウンセラーを日数を多く配置してほしい。	スクールカウンセラーの都の配置基準では、年間38日、大規模校には年間76日の配置となっています。本市では不登校対策の一環で、保護者や子どもたちの相談に対応するスクールソーシャルワーカーを増員し相談体制を整えています。今後も、子どもたちやその保護者が必要な相談を受けられる体制構築に努めていきます。
265	遠くから通学する生徒のために学校までのスクールバスを運行してほしい。	徒歩により通学が困難な地域から、通学区域内または選択区域、許可区域内の市立小学校及び中学校へ交通機関等を利用して通学している児童・生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助しています。今後も通学の安全確保及び保護者の負担軽減のため取り組んでいきます。
266	家が遠い人のために、スクールバスを運行してほしい。	
267	学校までのスクールバスを運行してほしい。	
268	学校までのスクールバスを運行してほしい。	
269	放課後の時間に安全・安心に過ごすことができれば、とてもうれしい。	地域とともにある学校づくりをすすめ、放課後の時間に安全・安心な子どもの居場所を確保しながら、各施策を着実にすすめています。
270	放課後の時間にも安心して本が読めたり遊んだりできるのは、大人のボランティアの方々などのおかげだと思う。	

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
271	放課後にスポーツで体を動かしたい。	地域とともにある学校づくりをすすめ、多様な経験や活動を体験できるよう活動プログラムの充実をはかりながら、各施策を着実にすすめていきます。
272	楽しい放課後を過ごせるようにしてほしい。	地域とともにある学校づくりをすすめ、楽しい放課後が過ごせるように、各施策を着実にすすめていきます。
273	地域とともにある学校づくりについてポスターなどで宣伝したら良いと思う。	施策展開5の各取組については、市のHP等により周知をはかります。
274	地域とともにある学校づくりを続けるのは良いと思う。	引き続き地域とともにある学校づくりをすすめていきます。
275	地域の皆さんと一緒に学校生活を送ることで地域の皆さんと学校との仲が深まると思うので、地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	賛成意見ありがとうございます。今後も、地域とともにある学校づくりをすすめ、一人ひとり望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、各施策を着実にすすめていきます。
276	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
277	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
278	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
279	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
280	地域とともにある学校をつくる取組に賛成する。	
施策展開の方向 6 子どもの学びを支える教育環境の充実		
281	中学校の空き教室を改装して、部室やトレーニングルームにしてほしい。	各学校の教室は、余裕教室（空き教室）になっている場合も、学校を建設する時に、必要な教室数を文部科学省からの補助金をいただいて建てているため、余裕ができたからという理由で自由に改修できるものではありません。現状のまま、使い方を工夫しながら大切に活用してください。
282	学校に本格的なテニスコートを設置してほしい。	『本格的な』という趣旨は分かりかねますが、各学校には授業や部活動を行うためには十分なテニスコートがありますので対応することはできません。
283	バスケットゴールを自動にしてほしい。	各学校には、手動式ですが授業や部活動を行うためには十分なバスケットゴールがありますので、現時点对応することはできません。
284	プールの底の一部が、足がつくギリギリの場所があって危険。	プールの構造上、中央付近が最も水深が深くなっています。最も深い場所で水深1.35mになっている学校もありますので、その付近で立たないことや、体育の先生にプールの水深を浅くしてもらうなど、注意しながらプール授業を受けてください。
285	教室など古い所を直してほしい。	本市には小・中・義務教育学校併せて107校の学校があります。そのため、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良個所の修繕や改修を優先して実施しています。そのため、単に古い施設を新しくするという対応はしていません。今後も、大切に学校施設を使ってください。
286	校舎をもう少しきれいにしてほしい。	
287	古い建物や古いものを改築したり建て替えてほしい。	本市には小・中・義務教育学校併せて107校の学校があります。そのため、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良個所の修繕や改修を優先して実施しています。そのため、古いというだけで施設を新しくするという対応はしていません。今後も、大切に学校施設を使ってください。
288	市の財政に振り回されずに集中して学習できる環境を作ることが必要だと思う。	学習環境の改善をはかるため、1人1台の端末配布にあわせ、全校の照明をLED化したことや、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた自動手洗水栓の導入は、都内自治体の中で最も早い対応です。今後も、児童・生徒の皆さんが学校生活を過ごしやすくなるよう、限られた予算を効果的に活用していきます。
289	水道から温水が出るようにしてほしい。	冬季など、手洗い時に水道水が冷たく感じることはあると思いますが、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良個所の修繕や改修を優先して実施していますので、現時点对応することはできません。
290	水道から温水が出るようにしてほしい。	
291	水道の自動水栓が少し使いづらい。	節水と感染症予防の観点から、令和5・6年度の2か年で全校の手洗い水栓を自動化しましたが、学校の要望に基づき、原則として流し台の1か所は手動式を残していますので、そちらの水栓も活用してください。
292	学校に花を植えるなど、学校の景観をよくしてほしい。	学校に植物を植えるなど、保護者・地域の方々と協力しながら学校の景観を良くしていけるよう取り組んでいきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
293	学校にエアコンが導入されて学校の中が快適になった。	これまでの普通教室・特別教室の空調機に加え、令和6・7年度の2か年で、学校体育館の空調機についても設置を完了しますので、より快適に過ごせるようになります。一方で、空調機の利用は地球温暖化の要因の一つにもなりますので、こまめな節電にもご協力お願いします。
294	エアコンがついて良かった。	
295	エアコンがついて良かった。	
296	エアコンを付けてくれたおかげで、夏に熱中症になる人が少なくなり良いと思った。	
297	体育館より先に第2校舎にエアコンを付けてほしかった。	第2校舎は、普通教室はもちろんのこと、学校要望に基づき特別教室も空調機を設置しています。一部未設置の特別教室があるとは思いますが、春や秋など空調機を使用しない時期に授業を行うことができると考えます。
298	教室を移動をする際にトイレの場所が遠くてトイレに行く時間が取れないので、トイレと教室を近くしてほしい。	各校舎、各フロアにトイレを設置しており、教室からそれほど遠いとは考えていません。時間帯によっては込み合うこともあると思いますので、他のフロアを使用したり、早めに行動するなど対応してください。
299	どの学校にも多目的トイレを設置した方がよい。学校は、避難場所になることが多いから誰もが使えるトイレを作してほしい。	校舎、体育館、武道場など、学校によって設置場所は異なりますが、全校にバリアフリートイレ（従来の『多目的トイレ』を『バリアフリートイレ』と表現しています。）を設置しています。
300	学校によって、理科の実験道具や運動の用具など設備や用具に差があるように思う。どこでも充実した学びを提供してほしい。	学校の教材教具などは、各学校で設備状況を判断し、各学校の予算の範囲内で整備しています。今後も市教育委員会では、各学校の予算確保に努めます。
301	生徒の数を増やすためには、小中一貫校にするなどして学校数を減らした方がよい。	本市では、「市立小・中学校再編基本方針」を定めており、再編により学校の適正規模化をはかることを方針の一つに掲げています。今後、地域の特性を考慮しながら学校の再編をすすめていきます。
302	少子化で1クラスになっている小学校が増えているので、小学校を再編すると良いと思う。	本市では、「市立小・中学校再編基本方針」を定めており、再編により学校の適正規模化をはかることを方針の一つに掲げています。今後、地域の特性を考慮しながら学校の再編をすすめていきます。
303	クロームブックが重いから持ち帰るのが大変	学習用端末を持ち帰ることで、自宅でもオンラインのドリルなどの学習に取り組むことができます。荷物の持ち帰りの負担については、重すぎて健康や安全など支障があるようなら、学校の先生と相談して、学校に置いていってよいものを持ち帰るものを整理するなど、工夫するようにしています。
304	パソコンで調べ学習などをする時にブロックされることが多い。安全のために仕方ないことだと思うが、たまにすべてブロックされて何も調べられないことがある。	学習用端末では、皆さんを有害サイトから守るために、フィルタリングソフトを導入しています。しかし、学習をより効果的に充実させるために学習用端末を貸し出していますので、いただいたご意見を参考にしながら、これからも子どもたちの学びの環境整備に努めていきます。
305	学習用端末を使ってゲームをしたり、YouTubeを見たりしている人が多く見受けられるので、もっと厳しく制限をかけてほしい。	学習用端末のインターネット利用制限については、子どもたちの安全を守るうえで必要なものと考えています。一方で、これからの社会を生きていく子どもたちには、強制的に制限されなくとも、パソコンなどの情報機器を正しく使う態度や知識を身に付けてもらいたいとも考えています。有害なサイトなどには制限をかけつつも、子どもたちが自ら判断し、適切に使えるよう支援していきます。
306	学校にパソコンが導入されて良い。	学習用端末の貸し出しにより、子どもたちの学習環境が大きく変わり、より充実した学びができるようになってきていると思います。社会全体で、情報化はますます進んでいます。これからも学校教育の環境充実に努めていきます。
307	プロジェクタが配備されているが、安価な大型液体を2台程度、教室の左右角に配置して常に教師から情報を与えられるようにした方がよい。また、教師が作成した教材（資料・動画・PDFなど）は現在有線で接続しているが、CromeCast等の無線接続を推進し、利便性を高める。	無線接続に関しては、各学校に2台ずつMiracastを配布しています。今後も教育現場で活用できる機器の調査を継続し、より効果的な活用を検証していきます。
308	保護者からICT活用方法などの意見を募ったり、ボランティアで活用の事例を学ぶ合うと良い。	本市では、全市立小・中・義務教育学校が地域運営学校として地域住民や保護者などが一定の権限と責任をもって学校運営に参画することで、地域に開かれた信頼される学校づくりをすすめています。今後も、保護者や地域の声をお寄せいただくことで、子どもたちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進めていきます。
309	ネット環境を良くしてほしいと思った。今よりも多くの人の意見を知りたいのでパソコンを使って共有できるようにしてほしい。	子どもたちがストレスなく学習用端末を使えるよう、インターネット環境の改善に取り組んでいるところです。これからも、国の整備指針や八王子市版GIGAスクール構想に基づいて、インターネット環境の改善に努めていきます。
310	インターネット環境を整えてほしい。	
311	良い授業は生徒とともにできるようにすると思うから、授業についてアンケートを実施するのが良いと思う。	各学校では、授業アンケート等を実施し、授業改善に努めています。これからも、御意見を参考に、より良い授業づくりに取り組んでいきます。
312	先生の授業の質を教育委員会が審査し、より高度な教育を促し、知識・技能の定着がより深まるようにする。	市教育委員会では、教員研修や各校の校内研究等を通して、先生方が授業力向上に取り組む機会を作り、より質の高い授業を行えるよう、指導・助言を行っています。これからも、教師の授業の質の向上に、市教育委員会もしっかり関わっていきます。
313	学びを得ようとする意欲の原動力は、それを学びたいと思う楽しさやモチベーションだと思うので、楽しさのある授業や学校づくりを行うのはいいことだと思う。	学ぶ意欲の向上と、そのために興味・関心が高まるようなきっかけを作ること、とても大切なことだと考えています。これからも、子どもたちが楽しいと思える授業や学校づくりに取り組んでいきます。

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
314	もっと学校に行きたいと思えるような、不登校をしている人をもっと減らすような、そんな学校するため研修を重ねてほしい。	不登校の問題への取組として、魅力ある学校、子どもたちが学校に行きたいと思えるような学校づくりはとても大切だと考えています。市教育委員会や各学校では、教員研修や先生方の情報交換の場も増やしたり、不登校の子どもたちへの支援体制を強化し、誰もが安心できる居場所づくりなどに取り組んだりしています。みんなが安心して通いたいと思える学校を、子どもたちと共に作っていきたいと考えています。
315	八王子市の市立小・中・義務教育学校は「地域運営学校」ですので、学校運営協議会とともに学校経営を決めていくということを明確に表記していく必要があると考えます。施策24の「現状と課題」にある「信頼される学校経営をめざして、校長がリーダーシップを発揮し、教職員全体で学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校評価などの充実をはかる……」という表記は、「信頼される学校経営をめざして、学校運営協議会との連携のもと、校長が校長本人に適したタイプのリーダーシップを発揮し、教職員全体で学校経営の基盤となる各種管理体制や指導体制、学校評価などの充実をはかる……」という表記に見直しをお願いします。	信頼される学校経営について、本市の市立小・中・義務教育学校においては、各学校の学校運営協議会との連携が重要な観点であると認識しています。また、校長のリーダーシップには様々なタイプがあり、それぞれの特長を活かして、信頼される学校経営を実現することが大切であると認識しています。今後も、信頼される学校経営の実現に努めてまいります。
316	教員の時間短縮を可能にする改善要素は、部活動指導だけでなく、それ以外の業務も含めて時間短縮を実現することが必要であるため、施策25の「施策の方向」にある「校長・副校長を含む教員一人ひとりが時間を意識した働き方を実践できるよう意識改革をすすめます。」という表記を、「校長・副校長を含む教員一人ひとりが時間を意識した働き方や時間短縮を可能にする業務改善を実践できるよう意識改革をすすめます。」という表記に見直しをお願いします。	教員の長時間労働を改善していくためには、まずは実態としての在校等時間を客観的に把握し、校長・副校長を含む教員一人ひとりが時間を意識した働き方をしていくことが重要です。さらに、時間を意識した働き方をする中では、ご意見のとおり、当然、時間短縮を可能にする業務改善が必要となってくるものと考えます。本計画をより具体的に実効性があるものとするために、ご意見を踏まえた表記に修正します。
317	子どもたちの活動を減らすことで、働き方改革が行われている面が強いと感じる。教員へのサポートスタッフに対する予算を増額し、子どもたちの活動を極力減らすことなく、働き方改革が行えるように進めてほしい。	教員が抱える業務のうち、教員でなくてもできることを外部人材に行ってもらうことは、教員の長時間労働を改善していくための効果的な対策の一つであると考えます。スクール・サポート・スタッフは、教員の児童・生徒への指導や教材研究等に取り組む時間を確保するため、教員に代わって学習プリントや授業の準備、採点業務等の補助などを行う外部人材であり、現在、市立小・中・義務教育学校全校に原則1名（大規模校等には2名）を配置しています。スクール・サポート・スタッフは、都の事業を活用して配置しているものですが、配置時間や人数の更なる拡大等については、都の動向や学校現場のニーズを注視しつつ、その必要性について検討していきます。
318	1クラスに生徒が40人いると教室が狭い。	市教育委員会では、今後も35人学級等について、国の動向を注視していきます。
319	パソコンを使用するために横長で広い机を配備してほしい。	現状の教室の広さでは、配備できる机の大きさや数量が制限されてしまうことから、各学校の状況等を鑑み、対応を検討していきます。
320	子どもの学びを支える教育環境の充実について、どのような学校づくりをするか知りたい。	子どもの教育環境や学校づくりをどのようにすすめていくか、子どもや保護者、地域の方々に伝わるよう、必要な情報をしっかりと発信していきます。
321	自分の意見から自分の人生が始まると思うので、自分の意見を自由に言える環境があったら安心できる。	
322	教育環境の充実私達子どもにとってやりがいや、やる気となると思い、これがあれば子どもたちの自主性なども育てられると思った。	
323	これからの未来を担う私達にとって学ぶことはとても大事だと思う。そしてそれを学ぶためにはそれ相応の環境が必要だと思う。だから、中学生などにアンケートを取ったりして、より私達が学びやすい環境を作してほしい。	
324	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
325	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
326	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
327	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
328	子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	
329	楽しい学校生活を送りたいので、子どもの学びを支える教育環境を充実する取組に賛成する。	賛成意見ありがとうございます。子どもの学びを支える教育環境を充実し、一人ひとりが望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、各施策を着実にすすめていきます。
330	学びを得ようとする意欲の原動力は学ぶ楽しさやモチベーションだと思うので、楽しい学校づくりを行うのには賛成。	
めざす教育の姿3　あらゆる人がともに学びあう生涯学習の振興（47件）		
施策展開の方向　7　市民がつながる生涯学習の推進		
331	学んだことを、誰かと分かち合えることはとても良いことだと思う。	学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験を誰かと分かち合い、地域や社会で活かすことのできる環境づくりをすすめていきます。

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
332	年齢に関係なく市民が参加できる勉強会を開催してほしい。	生涯学習センターでは、教養の向上や健康増進、趣味や仲間づくりにつながる多種多様な市民講座を開催しています。今後も様々なテーマの講座を企画・開催し、市民の方がいつでも学ぶことのできる環境づくりをすすめていきます。
333	勉強会とかあったら面白そうだなと思った	
334	生涯学習について、専門的なことを学ぶ場所がなくても、学習する機会があれば少なくとも知識がしっかりとつくと思う。	
335	施策19の「施策の方向」にある「子育てについて悩みや不安がある保護者向けに、保護者同士で情報交換や相談し合える機会を提供します。」という施策の方向を補強するために、施策 26「誰もが学べる環境の整備」の「主な取組」にある「生涯学習プランの策定」という主な取組の範囲に、「親としての成長を育む機会の提供」という要素が含まれるよう定義づけの見直しをお願いします。	現在策定中の生涯学習プランにおいて、地域学校協働活動をはじめとした学校・家庭・地域の連携に重点を置いた施策を展開しております。これは、子どもたちの支援でつながった大人たち自身の新たな学びの創出を目指すものであり、保護者自身が親として成長することも含まれていると考えております。保護者の子育てについての悩みや不安を取り除き、地域全体で親子の成長を支える地域学校協働活動事業や家庭教育支援事業などの施策を着実にすすめていきます。
336	無料でいつでも誰でも使えるような自習室を設けてほしい。	生涯学習センターでは、予約の入っていない部屋を自習室として学生に無料開放しています。今後も学生が気軽に自習できるような環境づくりに努めます。
337	遊ぶ場所も増やしてほしいけど、無料の自習室も増やしてほしい。	
338	もっと学習する場を増やすために自習場所を作ったほうがいいと思う。	
339	近場で勉強できる環境がほしい。	
340	市民がつながる生涯学習を推進する取組に賛成する。	賛成意見ありがとうございます。市民がつながる生涯学習を推進し、一人ひとりが望む未来に挑戦する力を身に付けられるように、各施策を着実にすすめていきます。
施策展開の方向 8 誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション		
341	もっとたくさんのスポーツをやってみたい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。
342	子どもから大人まで一緒に楽しめるスポーツをしたい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。 友達や仲間、親子で楽しみながらスポーツ体験ができる機会を創出します。
343	子どもと大人と一緒にスポーツをする機会がない。	
344	年齢に関係なく市民が参加できるスポーツ大会を開催してほしい。	スポーツ関係団体と連携し、各種大会や教室等のスポーツイベントを開催します。
345	定期的に市民が参加できるスポーツ大会を開く。	
346	年に2回くらいに年齢ごとにスポーツ大会を開く。	
347	地域の人ももっと関わる機会を増やし、年齢関係なくすべての市民が楽しめるように、八王子にある大きいホールなどで定期的にスポーツに触れ合える場を増やす。	既存のスポーツ施設を継続的且つ安全に利用できるよう、適切なマネジメントを実施しつつ、大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得るなど、場の確保・充実に努めます。また、スポーツ関係団体と連携し、各種大会や教室等のスポーツイベントを開催します。
348	多種多様なスポーツができる施設を作って地域のスポーツ大会などを開くのがいいと思った	
349	子供から大人まで楽しめる色んなスポーツができる（体験）場を作って欲しい。	
350	子供から大人まで楽しめるスポーツを体験できる場を作って欲しい。	既存のスポーツ施設を継続的且つ安全に利用できるよう、適切なマネジメントを実施しつつ、大学・特別支援学校等の運動施設利用の協力を得るなど、場の確保・充実に努めます。
351	適度な運動をし病気の予防ができる、健康的な運動ができる施設を増やしてほしいです。	
352	運動ができる場所を増やしてほしい。	
353	もっとサッカーコートを作してほしい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。 また、市内のスポーツ団体等と学校が連携し、学校部活動以外でも子どもたちが継続してスポーツに親しめる環境の整備や、体験教室・イベントを実施します。
354	地域のスポーツクラブやスポーツジムと連携して、学校でも様々なスポーツを体験したい。自分に合ったスポーツを見つけることができ、健康維持にもつながる。	
355	年齢関係なくスポーツを楽しめるのは良いと思った。	
356	地域の方と協力してスポーツを親しめる場所を作っているのが良いと思う。	
357	私は将来ダンサーになりたいと思っていて、ダンスは国際的にも活動が増えている。なので、海外でも通用するようなダンス、スポーツなどにも八王子市は力を入れていき、将来八王子市で生活する子どもや大人がやりたいと思ったときに挑戦できる、市民に誇れるような改革をしたほうが良いと思う。	
358	誰もが健康でいることができるのでいいと思う。	
359	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションの取組に賛成する。	
360	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションの取組に賛成する。	

意見番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
361	どんな人でも活躍できるからスポーツを推進してほしい。	年齢、障害の有無といった多様性を受入れ合い、だれもがスポーツを楽しめるよう取り組みます。
362	町のみんが健康になれるだけでなく、スポーツにも興味を持つことができれば楽しくなると思う。	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションを推進していけるよう各施策を着実にすすめていきます。
363	いろいろなスポーツイベントやスポーツを支えるボランティアが増えてほしい。	多様なスポーツプログラムを指定管理者や各団体等と連携して実施し、子どもたちの運動機会を創出します。やりがいや達成感が得られるスポーツボランティアに参加できる機会を拡充します。
364	誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーションについて、具体的にどのようなことをするのか知りたい。	スポーツ・レクリエーションに関する取組や今後の方向性については、「第2期八王子市スポーツ推進計画」に掲載します。
365	バスケットをやっているの、公園にたくさんバスケットゴールを置いてほしい。	公園について、老朽化した施設の更新時期などに合わせて、必要に応じてスポーツ施設や遊具などの新設を行っています。その際、公園の位置や規模、周辺の状況、及び近隣住民の方々の意見などを鑑み、整備する施設の内容を検討しています。今回いただいたご意見を公園管理部署とも共有し、対応について検討していきます。
366	小野田中央公園にサッカーゴールをつくってほしい。	
367	球技ができる場所をつくってほしい。	
368	球技が楽しめる、できる、公園を増やしてほしい。サッカーゴールやバスケットボールがある公園を作ってほしい。球技ができる公園が減り、子どもたちが外で遊ぶことが減ってきている。	体や頭を使った遊びやゲーム、キャンプや自然の体験活動など、自由時間に娯楽として行う活動全般のことをレクリエーションと呼んでいます。レクリエーションという言葉が用いられた名称の団体も多く存在しており、一般用語であると考えております。
369	施策展開の方向8「誰もが楽しめる生涯スポーツ・レクリエーション」の名称について、「レクリエーション」よりわかりやすい言葉にしてほしい。	
施策展開の方向 9 市民が誇れる歴史文化の保存・活用		
370	八王子の歴史や文化が守られるのはうれしい。	市民が誇れる歴史文化・伝統芸能を保存し、後世へ継承していけるよう八王子市文化財保存活用地域計画に基づき、各施策を着実にすすめていきます。
371	文化や風習を理解し、守り、そして後世へと伝えていくことが大切だと思う。	市民が誇れる歴史文化を理解してもらうための啓発を行い、後世へ継承していけるよう八王子市文化財保存活用地域計画に基づき、各施策を着実にすすめていきます。
372	学生だけでなく大人も学ぶことができる博物館や資料館を運営していく考えがよかった。	年齢・世代を限定することなく、誰もが本市の歴史・文化の魅力を学び、人とひと、人と情報が出会い、活動が生まれる賑わいのある施設としていきます。また、新たな博物館施設については、自習スペースも整備する計画となっています。
373	八王子の歴史や文化財を調査・研究し発信することで、その価値や魅力が子どもたちに伝わると思うので、市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組に賛成する。	市民が誇れる歴史文化の保存・活用をしていけるよう八王子市文化財保存活用地域計画に基づき、各施策を着実にすすめていきます。
374	桑都日本遺産センター 八王子博物館や絹の道資料館などで歴史や文化財を保存して、みなさんの学習に役立てられるようにすることがとてもいい案だと思った。	
375	社会の授業で勉強した八王子の歴史文化について、もっと知ることができる施設を作ってほしいので、市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組に賛成する。	
376	市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組は八王子の歴史が学べて良い。	
377	市民が誇れる歴史文化を保存・活用する取組に賛成する。	
その他（31件）		
378	昼休みをもう少し長くしてほしい。	各学校の1日の生活時程については、子どもたちに無理な設定になっていないか、市教育委員会も確認しています。これからも、学校と市教育委員会が協力しながら、子どもたちの学びが充実するような学校生活を支えていきます。
379	給食の時間が遅いから4時間目くらいには集中できていないので給食の時間を早くしてほしい。	
380	地域によって内申のとりやすさが変わるの是不平等だと思うのでどうにかしてほしい。	評価は、各学校の授業を担当する先生が指導した内容が身に付いたかどうかをはかるものなので、市で一律の基準を決めていません。これは、東京都でも、日本全国も同じです。ただし、各学校での成績のかたよりが気になる学校間での確認はしています。これからも、各学校で「適正で信頼される評価」の実現に取り組んでいきます。
381	内申点などの成績の基準を市で定めてほしい。	
382	校則に、髪の色指定を少なくしてほしいです。	社会生活を営むうえで一定のルールは必要なので、子どもたちには各学校の生活のきまりは大切にしてもらいたいと思います。ただし、生活のきまりや校則については、学校や児童・生徒、地域の実態、合理性などを考慮して、必要に応じて見直したり、改善したりすることが大切だと考えています。みんなが納得して守るルールとなるためには、子どもたち自身の意見も必要と考えており、子どもたちにも「どうすればみんなが納得のいく形になるのか」ということを考えながら、学校生活を送ってもらいたいと考えています。
383	制服のスカートの丈を自由にしてほしい。	
384	ジャージ登校を認めてほしい。	
385	個性個性言うなら、私物の色だとか見た目を規制する校則を無くすべきだと思う。自分を否定されているように感じる。	

意見 番号	意見の概要	八王子市教育委員会の考え方
386	自転車通学を認めてくれてありがとうございます。	自転車通学については、各学校が在籍する生徒の実態を踏まえて決めています。また、自転車通学を認める場合にも、希望がある場合に自転車通学を選択できるようにしています。
387	自転車通学を認めてくれてありがたいです。	
388	もう少し人住民が多い所に学校を建ててほしかった。	学校建設当時と比べて、学区内の住民構成や、通学する生徒の住むエリアなどが変化し、ご意見のような状況となっているものと推測されます。今後、学校を建設（再編）する際には、そのような地域ごとの現状を考慮しながら検討していきます。
389	学校が通学しにくい場所にある。	学校は必ずしも学区内の中央に設置されているわけではないため、ご意見のように通学しにくい状況となっている方はいることは認識しております。今後学校を再編する際には、通学区域の変更も含め、できるだけ通学の負担が軽減できるよう検討していきます。
390	学校が家から遠くて行くのが大変。	ご意見にあるように、地域によって学校までの距離等が違い状況があることは認識しています。今後学校を再編する際には、安全安心な通学手段の確保も含めて検討していきます。
391	バスの本数を増やしてほしい。	路線バスの本数が少ない交通不便地域があることは認識しています。いただいたご意見を関係所管と共有します。
392	バスの本数を増やしてほしい。	
393	バスの本数が少ない。	
394	上恩方地域のバスの本数が少ないから増やしてほしい。	
395	自分の家が学校よりも奥で、雨が降った時にバスで丁度いい時間がない。	
396	バスや電車の交通費を安くしてほしい。	徒歩により通学が困難な地域から、通学区域内または選択区域、許可区域内の市立小学校及び中学校へ交通機関等を利用して通学している児童・生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助しており、今後も通学の安全確保及び保護者の負担軽減のため取り組んでいきます。
397	高尾駅にでるのが不便なので、セグウェイや電動自転車など移動に便利な物は各所に設置してほしい。	市として子どもたちが地域に愛着と誇りを持ち、夢と魅力あふれるまちづくりをすすめていることから、いただいたご意見を関係所管と共有します。
398	高尾駅の南口を無料にしてほしい。	
399	学校の近くに大きなスーパーを作れば学校の生徒数が増えると思う。	
400	学校の周りに大きい店が少ない。	
401	カメムシが大量発生している。	カメムシは、毎年大量発生するものではないと考えていますが、児童・生徒の教育環境を守るよう取り組んでいきます。
402	自転車は免許があった方が良くと思った。また、自転車専用レーンなどを作ると事故は減ると思う。	いただいたご意見を関係所管と共有し、子どもたちが安全に登校できるよう取組をすすめていきます。
403	野生動物（サルやイノシシ）が多いので対策してほしい。特に最近サルをよく見かけます。	
404	山に近いものがあるが、夜出かけている時にイノシシなどが出て困っている。	
405	たくさん公園を増やしてください	いただいたご意見を関係所管に共有します。
406	大きい公園をつくってほしい。	
407	公園を増やしてほしい	
408	計画に書かれていることはあんまり実現されてないと思った。	計画にある各施策の実現に向けて各取組を着実にすすめていきます。